

事業の実施内容及び実績に関する報告書

平成25年3月31日

八王子NPOパワーアップ事業実行委員会

委員長 石井 利一

1. 本文	ページ	2. 参考資料	NO	内容
表紙/目次				
1. 地域の課題	1	1	1	NPOパワーアップ講座項目 & 内容概要
2. モデル事業の概要	1	2	2	NPO八王子会議/NPOパワーアップ講座関連図
3. マルチステークホルダーの概要(役割分担等)	2	3	3	「八王子NPOパワーアップ事業」5つの特徴
4. 実施事業の詳細な内容	3	4	4	H24年度NPOパワーアップ講座の反省と改善案
4. 1 NPOパワーアップ講座	3	5	5	組織のミッションの明確化講座実施報告
4. 1. 1 団体向け連続講座	3	6	6	事業計画と評価まとめ開催メモ
1) 講座内容	3	7	7	事務局の役割講座開催メモ
2) 進行状況	3	8	8	助成金申請講座実施報告
3) 講座実施状況	3	9	9	情報発信講座実施報告
4) 個別講座まとめ	4	10	10	広報活動講座実施報告
4. 1. 2 個人向け「ITの基本講座」	5	11	11	会計業務講座②実施報告
4. 1. 3 特別講座「新寄附税制のメリットと特徴」	5	12	12	会計講座テキストも記事及びポイント
4. 1. 4 講座開始後の改善点	6	13	13	ITの基礎講座内容
4. 1. 5 アンケート結果	6	14	14	「ITの基本」講座(パソコンの基礎)実施報告
4. 1. 6 ネットワークづくり	7	15	15	アンケートグラフ
4. 1. 7 成果	7	16	16	特別講座「新寄附税制のメリットと特徴」実施報告
4. 1. 8 具体的成果	7	17	17	アンケート
4. 2 NPO八王子会議	8	18	18	総合アンケートまとめ
4. 2. 1 第2回NPO八王子会議	8	19	19	総合アンケートグラフ
1) 概要	8	20	20	H24年度NPOパワーアップ講座成果整理表
2) アンケート結果	8	21	21	NPOパワーアップ講座状況写真
4. 2. 2 第3回NPO八王子会議	9	22	22	NPO八王子会議実施報告書本文
1) 基調講演	9	23	23	第3回八王子NPO会議報告書
2) 分科会A「地域円卓会議に学ぶ」	9	24	24	第3回八王子NPO会議会場風景
3) 分科会B「ファンドレイジングの基礎」	9	25	25	団体訪問調査表リスト
4) 分科会C「ずっと住み続けたいまちをつくるのは私たち」	10	26	26	H24年度団体訪問調査リスト
5) クロージング	10	27	27	NPO会議団体訪問記録例
6) アンケート結果	10	28	28	NPO会議団体訪問アンケートグラフ
4. 3 団体訪問調査	10	29	29	(H25年度)NPOパワーアップ講座
1) 平成23年度	10	30	30	チラシ/広報記事
2) 平成24年度	10	31	31	HP/ブログ
5. 事業実施上の課題	11			
5. 1 資金	11			
5. 2 講座で得た知識/ノウハウをいかに自団体の運営に反映していただくか	12			
6. モデルとして他のNPO・行政等に紹介する仕組み	12			
7. 平成25年度以降の予定	13			
8. その他	13			
8. 1 広報				

事業の実施内容及び実績に関する報告書

平成25年3月31日

八王子NPOパワーアップ事業実行委員会

委員長 石井 利一

1. 本文	ページ	2. 参考資料	
表紙/目次		NO	内容
1. 地域の課題	1	1	NPOパワーアップ講座項目 & 内容概要
2. モデル事業の概要	1	2	NPO八王子会議/NPOパワーアップ講座関連図
3. マルチステークホルダーの概要(役割分担等)	2	3	「八王子NPOパワーアップ事業」5つの特徴
4. 実施事業の詳細な内容	3	4	H24年度NPOパワーアップ講座の反省と改善案
4. 1 NPOパワーアップ講座	3	5	組織のミッションの明確化講座実施報告
4. 1. 1 団体向け連続講座	3	6	事業計画と評価まとめ開催メモ
1) 講座内容	3	7	事務局の役割講座開催メモ
2) 進行状況	3	8	助成金申請講座実施報告
3) 講座実施状況	3	9	情報発信講座実施報告
4) 個別講座まとめ	4	10	広報活動講座実施報告
4. 1. 2 個人向け「ITの基本講座」	5	11	会計業務講座②実施報告
4. 1. 3 特別講座「新寄附税制のメリットと特徴」	5	12	会計講座テキストも記事及びポイント
4. 1. 4 講座開始後の改善点	6	13	ITの基礎講座内容
4. 1. 5 アンケート結果	6	14	「ITの基本」講座(パソコンの基礎)実施報告
4. 1. 6 ネットワークづくり	7	15	アンケートグラフ
4. 1. 7 成果	7	16	特別講座「新寄附税制のメリットと特徴」実施報告
4. 1. 8 具体的成果	7	17	アンケート
4. 2 NPO八王子会議	8	18	総合アンケートまとめ
4. 2. 1 第2回NPO八王子会議	8	19	総合アンケートグラフ
1) 概要	8	20	H24年度NPOパワーアップ講座成果整理表
2) アンケート結果	8	21	NPOパワーアップ講座状況写真
4. 2. 2 第3回NPO八王子会議	9	22	NPO八王子会議実施報告書本文
1) 基調講演	9	23	第3回八王子NPO会議報告書
2) 分科会A「地域円卓会議に学ぶ」	9	24	第3回八王子NPO会議会場風景
3) 分科会B「ファンドレイジングの基礎」	9	25	団体訪問調査表リスト
4) 分科会C「ずっと住み続けたいまちをつくるのは私たち」	10	26	H24年度団体訪問調査リスト
5) クロージング	10	27	NPO会議団体訪問記録例
6) アンケート結果	10	28	NPO会議団体訪問アンケートグラフ
4. 3 団体訪問調査	10	29	(H25年度)NPOパワーアップ講座
1) 平成23年度	10	30	チラシ/広報記事
2) 平成24年度	10	31	HP/ブログ
5. 事業実施上の課題	11		
5. 1 資金	11		
5. 2 講座で得た知識/ノウハウをいかに自団体の運営に反映していただくか	12		
6. モデルとして他のNPO・行政等に紹介する仕組み	12		
7. 平成25年度以降の予定	13		
8. その他	13		
8. 1 広報			

# 事業の実施内容及び実績に関する報告書

平成25年3月31日

八王子NPOパワーアップ事業実行委員会

委員長 石井利一

## 1. 地域の課題

### 1) 八王子地域の市民活動団体の実態

「新しい公共」が提唱され、市民活動団体の重要性が高まっている。東日本大震災を機にさらに市民活動団体に注目が集まっている。しかし現存する団体は意気込みでスタートするが、財政基盤も脆弱で、人財育成力にも乏しいところが大部分である。

### 八王子地域のNPO法人の実態

八王子市には平成23年時点で236のNPO法人があり、法人格を有していない市民活動団体も含めると500を超える団体が、さまざまな活動に取り組み新しい公共の一翼を担っています。平成22年NPO法人八王子市民活動協議会(以下、市民活動協議会という)で200強のNPO法人を対象に訪問調査を実施したが、約30%は連絡がつかなかった。しっかりした調査が出来たのは約50団体で、このうち助成金、補助金を受けた経験があるのは30団体であった。これは法人格を持った団体に関するデータであり、一般の市民活動団体の状況はもっと厳しいと考えられる。

### 2) 八王子の市民活動サポートシステム

個別案件に関しては、八王子市市民活動推進部協働推進課(以下、協働推進課という)及び八王子市が指定管理者として指定した協議会が運営に当たっている公設民営の八王子市市民活動支援センター(以下、支援センターという)が窓口となり対応している。

団塊世代向けに地域活動へ導入する講座・研修等は複数部門で体系的に実施されているが、実際に活動している市民活動団体に対しては、散発的に単発の講座があるぐらいで、団体運営の実務をしっかりと学ぼうと思うと、都心で高額の受講料を払い受講するしかなかった。また平成22年までは最新の情報を得、多くの市民活動団体と交流するためには都心の集会や講習会に参加するしかなかった。このような状況を踏まえ「八王子NPOパワーアップ事業」を企画した。

## 2. モデル事業の概要

### 1) NPO八王子会議開催

市内のNPO法人ならびに法人格を有しない市民活動団体(以下「市民活動団体等」とする)が一堂に会し、相互連携や課題の共有、目標の設定などを行える場を創出する。この会議をベースにして八王子地域のネットワークを作る。

本会議は平成23年2月、本事業の協議体主体団体である「協議会」が中心になって第1回大会が開催された。八王子を含む多摩地域として初めてのNPOを対象とした大規模な会議であった。180名の参加者を得、アンケート結果でも八王子市でこのように充実した会議に参加できてよかったと大好評であった。都心ではよく行われていることでも、八王子の地で開催することは意義のあることであることが実感された。

前回は会議単独の開催で、ある意味意識アップを目指すだけ場であったが、本事業ではこの会議を問題提起の場とし、NPOパワーアップ講座はこれをうけた実践研修として実際の行動につなげる一貫システムとなる。

### 2) NPOパワーアップ講座開催

理想・意気込み高く市民活動団体での活動を始めても、本格的に取り組もうとする際には、団体運営の実務が必要となる。八王子では、このような実務を系統的に学べるシステムが無い。

NPO八王子会議開催の際のNPO法人訪問調査・アンケート等において、要望の多かったNPO運営実務にポイントを置いた講座を開催する。

講座内容(詳細は別紙「NPOパワーアップ講座」参照ください)

組織の運営(組織のミッションの明確化 事業計画と評価 事務局の役割)  
財政基盤強化(会計業務 助成金の申請)  
広報活動(ITの基本 広報)

講義を聴くだけに終わらず、実際に実行に移していただくために次の特徴を持たせる

①1団体につき2名受講を基本とする。

団体内で孤立し、挫折することを防ぐ

②会計業務及びITの基礎の実務講座受講者に対しフォロー体制をとる。

会計業務;1団体につき1回会計実務に関し専門相談を受ける権利を付与する。

ITの基礎;1名につき1回、情報ボランティア八王子が開催する「パソコンなんでも相談」に参加する権利を付与する。

③受講者のOB会を組織し、実施にあたっての情報交換の場とし、あわせて親密なネットワークの構築の一助とする。

\* 地域に根差した団体が対象であるので、地域の課題及び団体ニーズに対応した講座にしていく。

\*)狙い

NPO八王子会議にとっては、その場限りの会議に終わらず、実践の場を用意した会議となる。

パワーアップ講座にとっては、NPO八王子会議で問題意識を持っていただくことで、受講のよい動機付けとなり、相乗効果が期待できる。

\*)参考資料

資料一1 NPOパワーアップ講座項目&内容概要

資料一2 NPO八王子会議/NPOパワーアップ講座関連図

資料一3 「八王子NPOパワーアップ事業」5つの特徴

3)八王子NPOパワーアップ事業5つの特徴

類似講座が都心でも開催されているため本講座の特徴を整理しました。

特徴その1 意識面の気づき/向上を図る会議と実務能力をアップする講座を有機的にリンクしています。

特徴その2 ローカルで実施する事業です

特徴その3 パッケージ(通し実施する)として受講する講座です。

特徴その4 実際に成果につながるような工夫をしています

・1団体につき2名が受講可能とする。(講座によりメンバー変更可)

・会計業務及びITの基礎の実務講座受講者に対しフォロー体制をとる。

特徴その5 ネットワークづくりを狙っています。

受講者のOB会づくりをサポート、実施にあたっての情報交換の場とし、あわせて親密なネットワークの構築の一助とする。

\*)参考資料

資料一3 「八王子NPOパワーアップ事業」5つの特徴

3. マルチステークホルダーの概要

1) 構成メンバー及び役割

行政及び市民活動団体を含む5団体で協議体を構成する

団体名仮称

八王子NPOパワーアップ事業実行委員会

協議体構成団体メンバー

特定非営利活動法人八王子市民活動協議会

代表団体 全般企画及び事務局業務

理事長が実行委員長を務め、理事3名が実行委員会事務局長および事務局員として、講座企画、講座運営全般のかじ取りを担った。

八王子市市民活動推進部協働推進課

行政面からのアドバイザー/広報

講座内容・企画に市民協働推進課としての観点からアドバイスをいただくと共に、広報面では市広報紙

への掲載及びパンフレット類の市民センター等への掲示・配布に協力していただいた。

将来協働推進課で開催している研修講座とのコラボも検討課題となっている。

#### 特定非営利活動法人著作権推進会議

#### 講座企画/講師派遣

専門知識集団として講座の構成に関わっていただくと併せ、会計講座への講師を派遣していただいた。

#### 特定非営利活動法人八王子子ども劇場

#### 講座企画/講師派遣

助成金を活用し、豊富にイベントを開催している団体の経験を活かし、助成金申請業務へのアドバイスをいただくと併せ、平成25年度の講座では、豊富な団体運営の経験を活かし、事務局の役割講座の一部講師を担当していただく。またNPO八王子会議の有力な企画メンバーでもある。

#### 八王子生涯学習コーディネーター会

#### 講座企画

講座企画アドバイス、講座でコーディネーターを務めていただいた。

## 4. 実施事業の詳細内容

### 4.1 NPOパワーアップ講座

昨年度、講座項目、講師を決定し講座内容の検討を実施してきましたが、今年度に入り内容を確定し実施しました。

#### 4.1.1 団体向け連続実務講座

##### 1) 講座内容

①組織のミッションの明確化 ②事業計画と評価 ③事務局の役割 ④助成金申請 ⑤情報発信  
⑥広報活動 ⑦会計講座 です。

会計講座は3日間、その他講座は各1日、計9日間の講座です。

※講座項目詳細は参考資料「NPOパワーアップ講座項目&内容概要」をご覧ください

##### 2) 進行状況

4月一杯でポスター・チラシを決定し5月に入り本格的な広報活動をすすめ、受講団体の募集を行いました。

6月7日開講式を開催し、7月初めまでに5講座を実施し、団体向け連続講座の前半分を終了しました。8月9日に中間報告会を開催しました。9月6日に後半の2講座(4日間)を開始し、9月27日に修了し、10月25日に修了式を開催しました。

##### 3) 講座実施状況

毎回15団体の25名前後のメンバーが午前10時から午後4時半まで、講義に加え、数多く盛り込まれた実習・ロールプレイ・ワークショップに熱心に取り組みました。お互いのミッション/事業計画を参考にしたり、子供の緑体験を企画するなど団体活動の交流の芽も出てきました。個人的な交流も進み、パソコンを使った情報発信では不慣れなメンバーを隣のメンバーがサポートする光景が各所で見られました。助成金申請講座では、実際に助成金申請書を書いていただき、メンバー間でアドバイスしました。アンケートでは10名の方が、「助成金申請にぜひチャレンジしたい」と答えてくださいました。情報発信講座では受講者25名全員がブログを作成し、20名の方が今後もブログに取り組みたいと答えていただきました。このように講座は、実際の成果につながると共に、ネットワークづくりの面でも効果を上げました。これらの学びを整理し実際の改善活動につなげるために当初計画にはありませんでしたが、8月9日(木)には中間報告会を開催しました。参加15団体に今後の取り組み計画を発表していただき、報告会後は懇親会で絆を深めていただきました。

9月から団体向け実務講座を再開し、広報活動講座、会計講座を開催しました。広報活動ではイベントの組み方に加え人目を引くチラシづくりを実践しました。会計講座では講師手作りの分厚いテキストに基づき、3日間みっちり勉強しました。

#### \*)参考資料

資料-4 H24年度NPOパワーアップ講座の反省と改善案

#### 4)個別講座まとめ

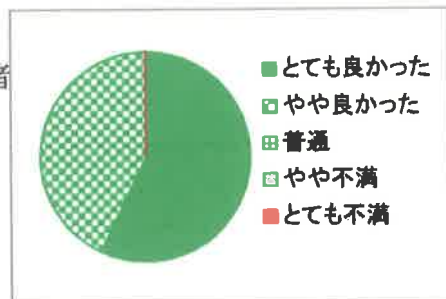
##### ①組織のミッションの明確化講座

- ・講師;山岡義典(法政大学名誉教授)
- ・午前の開講式に引き続き最初の講座をスタートした。
- ・山岡講師による講義、4グループに分かれてのワークショップが実施され、各グループの発表に対し、山岡講師の講評があり1回目が終了した。
- ・ワークショップも、団体リーダークラスが集まっておられるだけあって活発な意見交換があり早速活動を交流できそうな例も上がっていました。好評なアンケート結果をいただきました。
- ・アンケート結果では理解度は高いようであるが、実際の自団体のミッションの見直しにつながるかは疑問が残る。見直した結果を披露しあう等の場の設定を検討したい



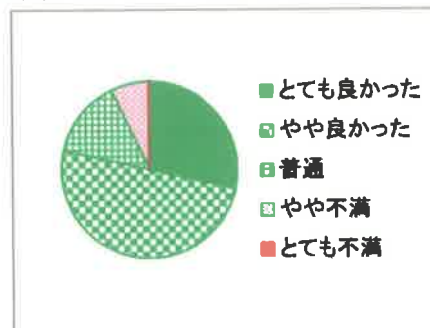
##### ②事業計画と評価講座

- ・講師;川北秀人(IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表者)
- ・4テーマごと講義を聴き、4グループによるワークショップを実施
- ①「活動・業務のニーズを再確認しよう！」
- ②「ニーズを踏まえつつ今年度の事業のポイント」
- ③「特に重要な事業活動の計画をつくる」
- ④「評価」
- ・アンケート結果では話の内容は十分理解でき、計画立案のポイントもよく分かったとの結果であった。但しワークショップはあまり時間がなく、他のメンバーとの交流にもう少し時間が欲しいとの意見があった。



##### ③事務局の役割講座

- ・講師;梅本和比己(株)チーム医療
- ・ジャンケンで他己紹介スタート(アイスブレイク)
- ・4グループに分かれコミュニケーションスキルのワークショップを実施、様々なコミュニケーションツールを体験した。
- ・事務局としては人とのコミュニケーションが大切であるとの観点である。
- ・アンケートではコミュニケーションの大切さ、その手段がよく分かったとの記述がある反面では、事務局実務を知りたかったという意見も多かった。次年度は午前中に事務局実務を講義し、午後コミュニケーションツールを体験するように改善する。



##### ④助成金申請講座

- ・講師 和田真(日本財団広報グループ)
- 助成金申請書作成のポイント
- 事業計画の立案と助成金申請
- 実施効果測定、報告書の作成他
- ・4グループに分かれワークショップを実施、
- ・事前宿題で申請書たたき台を作成して持参していただく予定であったが、実際に持参していただいたのは約半数であった。
- ・アンケート結果は好評で、結果としても助成金獲得5団体、申請中3団体という予想以上の成果が出た。



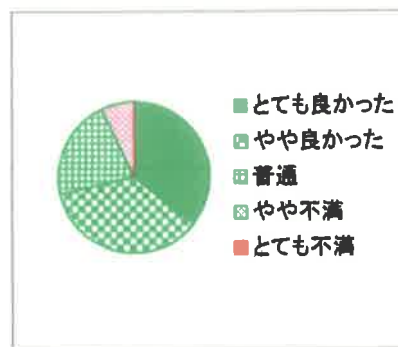
##### ⑤情報発信講座

- ・講師;大熊雅樹氏(ジェイ・ライン株式会社)
- ・午前中ホームページ・ブログ活用の講義 特にブログの有用性を強調
- ・午後ブログ開設の実習
- ・(ほぼ全員が開設できたが、初心者にはもう少し時間をかけた方が良かった)
- ・アンケート結果ではブログに対する好感度は高く、約20名が引き続きブログを使用したいと書いていたが実際の継続使用者は数名にとどまっている。あと一押しが必要。



## ⑥ 広報活動講座

- ・ 講師;川久保美紀子(八王子市市民活動支援センター副センター長)
- ・ 午前中 イベントの企画、手順、キャッチフレーズの決め方ポイント講義に引き続きワークショップでタイトル考案
- ・ 午後ワークショップでチラシづくり  
全員がパソコンを操作し文字装飾等のテクニックを実習し、1枚のチラシを仕上げた。
- ・ パソコン操作の慣れにばらつきが大きく、文字装飾は初心者には少し難しかったようである。次年度はレベル分けが望ましい。



## ⑦ 会計講座

- ・ 講師 板垣 力(板垣税務事務所)
- ・ 3日間で約100頁のテキストを修了した。  
本講座は教室形式での座学であった。
- ・ 100頁のテキストには驚かされたが講師の熱意あふれる講義はアンケートでも評価が非常に高かった。
- ・ 但し受講者は初心者が多く理解が十分とは言えない。フォローアップ策として個別専門相談の権利を提供したが、初心者には敷居が高く、利用したのは1団体のみであった。対応策として、3月26日、28日初心者、少しレベル上のレベル設定で、フォローアップ講座を開催した。



### \* ) 参考資料

- 資料-5 組織のミッションの明確化講座実施報告
- 資料-6 事業計画と評価まとめ開催メモ
- 資料-7 事務局の役割講座開催メモ
- 資料-8 助成金申請講座実施報告
- 資料-9 情報発信講座実施報告
- 資料-10 広報活動講座実施報告
- 資料-11 会計業務講座②実施報告
- 資料-12 会計講座テキストも記事及びポイント

### 4.1.2 個人向け「ITの基本講座」(パソコンの基礎講座)

団体向け実務講座の前半分終了後市民活動団体で活動している個人対象にパソコンの基礎講座(3日間)を開催しました。

受講者 14名(1名は初日になって体調不良でキャンセル)

インターネット、Word、Excelを各5時間×3日間で実施しました。

受講者を市民活動団体関係者に限定したため、受講者募集が難航し、レベルがばらつき、講師にご苦勞をおかけしました。

### \* ) 参考資料

- 資料-13 ITの基礎講座内容
- 資料-14 「ITの基本」講座(パソコンの基礎)実施報告
- 資料-15 アンケートグラフ

### 4.1.3 特別講演会「新寄付税制のメリットと特徴」

9月1日一般向けに開催。

講演テーマが一般向けでなかったこともありましたが、参加者は52名を何とか確保しました。当初計画は「NPO八王子会議」を参考に、参加者100名を予定していましたが、NPO八王子会議は多彩なテーマがあり、今回の単一で専門的なテーマの講演会とは性格が違い、計画



に慎重さが足りませんでした。

#### \* )参考資料

資料-16 特別講座「新寄附税制のメリットと特徴」実施報告

資料-17 アンケート

#### 4.1.4 講座開始後の改善点

##### 1) 講座会場の変更

当初予定していた八王子市市民活動支援センターの会議室ではグループに分かれてのワークショップ等には狭いことが判明したので、急遽外に会場を確保した。1回目講座は八王子労政会館、2回目から4回目までは協賛いただいている西武信用金庫様の八王子支店の2階を活用させていただいた。会場費を安くしていただき予算超過は抑制できた。

##### 2) 中間報告会の実施

講座自体は、講師の熱のこもった講義に受講者が真摯に取り組み、アンケートでも好評であったが、この学びを具体的な改善案に結び付けるきっかけとして中間報告会を開催した。2団体に自団体の取り組み具体例を各10分程度発表していただき、その他団体も簡単に自団体での取り組み状況、取り組み予定を報告していただいた。報告会に引き続き懇親会も開催することで、講座の場で生まれつつあった親密度のさらなる醸成につながった。

##### 3) 講座修了式の開催

- ①修了書授与により動機づけとする
- ②今後の取り組み計画を発表していただくことにより、実行につなげていただく。
- ③各団体の取り組み計画を聴くことにより、自団体取組の参考としていただく。
- ④長期間一緒に研修してきた団体/メンバーでコミュニケーションを深めネットワークをつくる。

##### 4) 会計フォローアップ講座の実施

本講座は、特にフォローが必要と考えられる、ITの基礎及び会計講座に関しては、講座終了後、個人専門相談を受ける権利を提供した。

ITの基礎に関しては講師が所属している市民活動団体が2回/月開催しているパソコンなん相談券を提供したが、相談者は2名にとどまった。

会計講座に関しては、講師を派遣していただいた団体が実施している個別専門相談の相談権利(5,000円相当;相談時点で実行委員会が支払う)を受講団体に配布したが、今年に入り、確認したところ相談希望は、1団体にとどまった。専門的なことを個別に相談するのは敷居が高いといえる。

9月の本講座をみていると、受講者のレベルにばらつきがあり、しかもあまり経験のない人が多い状況であり、フォローの必要があった。これらの状況を鑑み、事務局と講師で検討した結果、個別専門相談の予算を活用し、初歩と実務レベルの2回に分けフォローアップ講座を開催した。

講師の業務の都合で年度末となり、参加者数がけんされたが、結果的に計16名の参加者があり、好評であった。

#### 4.1.5 アンケート結果(詳細は補足資料「総合アンケートまとめ」「総合アンケートグラフ」参照)

各講座実施毎の受講者にアンケートして答えていただいた。さらに修了にあたり団体代表者に総合アンケートを実施した。

##### 1) 個別講座アンケート

各講座の評価では、チラシづくりの高度なノウハウを披露した講座がむずかしかったせいか、この講座の評価は少し低かったが、それでもやや良かった以上が71%であった。

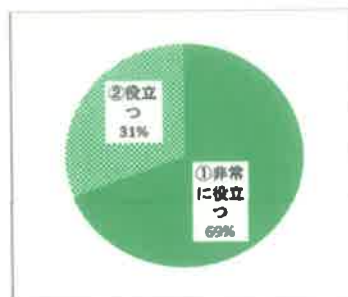
その他の講座では、ほとんどが「やや良かった」以上で85%以上と好評であった。

##### 2) 総合アンケート

講座の5つの特徴に対する評価は、地元団体と一緒に受講する効果は64%にとどまったが、



通しでの受講は85%、2名/団体受講は100%の評価であった。さらに今回の講座が自団体のパワーアップに役立つか?の設問に対しては「役に立つ」以上が100%と評価していただいた。



**\* ) 参考資料**

資料-18 総合アンケートまとめ

資料-19 総合アンケートグラフ

**4.1.6 ネットワークづくり**

**1) 懇親会**

本講座は、地元の団体が長期に研修を共にすることによる、親密なネットワークづくりも大きな目標としている。そのため中間報告会、修了式の後には懇親会を持ち、個人的な懇親も図った。

**2) メーリングリストによる情報交換**

修了式後は賛同者によるメーリングリストを運用し情報交換している。まだ事務局よりの情報提供が主であるが、自団体のイベントの紹介などが載るようになってきている。

**3) 情報交換会の開催**

1月17日修了式後初めて受講団体OB対象の情報交換会を開催した。

実行委員会からは国分寺で東京都新しい公共支援事業モデル事業中間報告会でのプレゼン及び他団体の報告紹介、協議会のイベント紹介を行った。NPO法人格を取得されたすまいるカフェ様は設立記念講演会の紹介、他団体も自団体の情報提供を行った。

**4) 設立記念講演会サポート**

1月27日すまいるカフェ様のNPO法人設立記念講演会「50℃洗いが野菜にもたらす可能性」が講座のメイン会場であった西武信用金庫様の会議室で開催されたので、事務局としてサポートした。講座OBも多数参加し、100名近くの参加者を得大成功で終了した。

今後も地道に情報交換・サポートを行い、ネットワークにきづなを強めていきたい。

**4.1.7 成果**

**1) 受講者の熱心な取組み**

15団体約25名前後のメンバー全員が、午前10時から午後4時半まで、講義・実習・ロールプレイ・ワーク ショップに参加。

**2) 交流の芽が出現**

- ・お互いのミッション/事業計画を共有。
- ・団体同士で子供の緑体験を企画。
- ・パソコンを使った講座では不慣れなメンバーをサポート。

**3) メーリングリストで情報交換実施中**

2013年3月31日現在 メンバー数 27名

**4.1.8 具体的成果(\* 受講15団体の結果)**

詳細は添付「H24年度NPOパワーアップ講座成果整理表」参照

NPO法人格取得の1団体はこのコザでスタートされた。感想を右に示します。さらに2団体が法人化検討実施、内1団体はH25年度取得準備開始されました。

助成金獲得は実行委員会を含め確定8団体、申請中2団体となり、受講団体の2/3となりました。

ブログは情報発信講座のアンケートでは大人気であったが結果は伴っていない。今後工夫を要します。

①NPO法人格取得	2団体
法人化検討	2団体

②助成金獲得	8団体
③助成金申請中	2団体
④ホームページ新規開設/開設予定/見直し	5団体
⑤ホームページ開設済	12団体
⑥ブログ新規開設	2団体

**\*)参考資料**

資料ー20 H24年度NPOパワーアップ講座成果整理表

資料ー21 NPOパワーアップ講座状況写真

**4.2 NPO八王子会議**

平成23年度に第2回会議、平成24年度に第3回会議を開催しました。

**4.2.1 第2回NPO八王子会議**

**1)概要**

「第2回NPO八王子会議」は、平成24年2月25日(土)、10:00~17:00、東京都八王子労政会館で開催しました。

・当日の様子は、八王子テレメディアで収録放映されました。

事前申込み者は147名、当日は、雨模様の中にもかかわらず参加者121名、交流会にも52名の参加者があり、お陰さまで第1回に引き続き盛況裡に終了出来ました。

参加者の内訳は、団体関係者94名、企業関連8名、他市中間支援組織3名、大学、学生3名等でした。

**2)アンケート結果**

37枚のアンケート記入済み用紙を回収しました。

**ポイントとなる結果**

**①当日の会議の内容に関しては、**

大変良かった 49% 良かった 46% 良かった以上は 95%  
達成目標の「良かった以上が70%以上」を達成しています。

**②当日の会議を何で知ったか**

市民活動通信、協議会だより、メルマガが32%でトップ、タウン誌25%が継いでいる。

会議の性格上、主催団体関係の広報メディアが活用されている

**③八王子NPOパワーアップ事業で新規に開講する「NPOパワーアップ講座」への参加意思**

「参加したい」が25名(68%)、うち8名は「ぜひ参加したい」でした。

**④不参加理由**

不参加表明者は6名(16%)で理由は、「時間がない」、「受講料が高い」で80%となっており、「必要ない」は20%にとどまっています。

**\* ③、④を通じ、「NPOパワーアップ講座」への関心が高いことがわかる、心強い結果と**  
なっています。

**⑤記述内容例**

- ・講師陣、ワークショップ、事例発表は、それぞれすばらしい内容でした。
- ・ともに協力しあってNPOの新しい時代を切りひらく課題や解決していく手段がわかった。
- ・自分たちの活動方針、目標をもう一度、見つめ直す機会となった。
- ・多くの気付きと学びがあり有意義な時間を過ごすことが出来ました。
- ・次回のワークショップは、分野別に学ぶ内容があればと思います。
- ・プログラムの内容に多様性があったが、質問の時間がほしかった。
- ・縦横のつながりに大変強力なサポートをされていると感じました。
- ・第3回以降も継続実施出来るよう期待しています等。

**\* 各講師陣からは、八王子の参加者の意識、事例発表等のレベルが高いとの感想を述べられて**

いました。

#### \* ) 参考資料

資料一22 NPO八王子会議実施報告書本文

#### 4.2.2 第3回NPO八王子会議

「第3回NPO八王子会議」は、平成25年3月16日(土)、10:00~17:00、東京都八王子労政会館で開催しました。当日の参加者は交流会のみも含め130名でした。学生の参加も狙い参加料を半額にしましたが、1名でした。春休みであったことが影響したようです。

この「NPO八王子会議」も今年で3回目の開催となるが、今回は「連携」をテーマに、午前の基調講演と午後の3分科会で構成した。特に分科会「A」は「円卓会議」という、様々なステークホルダーが係わり合いを持ちながら、地域の課題解決に取り組むという新しい手法を紹介した。

##### 1) 基調講演

講師: 早瀬 昇 (認定NPO法人日本NPOセンター代表理事)

テーマ: 「NPOと様々なセクターが織りなすこれからのまちづくり」

##### ・多彩な視点を持つ市民活動

市民活動団体としての多様性とネットワークの軽さを活かす。

##### ・当事者として関わる市民活動

外部者として支援するのではなく、自分もその立場になりうる当事者意識で関わる

##### ・連携

自分たちだけで、全ての地域課題を解決出来る訳ではない。弱みを自覚し、他の団体や組織、行政等色々な人たちと補完し合うことによって、高いレベルの解決策が生まれる。

##### 2) 分科会「A」13:00~16:00

講師: 田尻 佳史 (認定NPO法人日本NPOセンター常務理事・事務局長)

テーマ: 「地域円卓会議を学ぶ」

##### ① 講演内容

- ・変わりゆく市民生活の現状を理解することの大切さ。少子高齢化や経済情勢、価値観の変化などにより、地域の成り立ちが大きく変わりつつある(公助や共助、行政とNPOの協働のあり方、新しい公共の捉え方など)。
- ・社会的責任に関する円卓会議の背景。上記のような変化を踏まえて、これからは地域の各分野のステークホルダーを含む複数組織による課題解決が不可欠である。
- ・このほか、円卓会議の組み立て方、進め方、重要ポイント等の説明があった。

##### ② 円卓会議の実践

- ・最初にテーマである「八王子市〇△町の買物難民支援を考える」に関する地域状況をイメージ映像を流しながら説明して、参加者が共通認識を得るようにした。各参加者の簡単な自己紹介(3分)の後、討議に入った。
  - ・ファシリテーターが支援対策への視点、考え方、対策にはどんな手法が考えられるか等について問題提起した。
- 今回は「模擬」ということで、円卓会議の手法を紹介したわけだが、初めてのことであり、やゝ討論が未消化であり、課題→対策への論点が不十分だったように思われる。しかし、この「円卓会議」という手法は、地域の各ステークホルダーが参画してひとつの課題解決を話し合うもので、今後の運用次第では大きな成果を挙げるものと期待できる。

##### 3) 分科会「B」13:00~16:00 受講者 30名 (他にスタッフ3名)

講師: 徳永 洋子 (認定NPO法人日本ファンドレイジング協会事務局長)

テーマ: 「ファンドレイジングの基礎」

- ・資金調達には、会費、助成金補助金、寄付、自主事業収益など、バランス良くすることが大切である。
- ・資金調達をしっかりと定着させることは、会員の定着にもつながることである。

資金調達の大切さとその基本が良く理解できた。今後は実際の応用編などを聞いてみたい。

もう少し、ワークショップで参加者の自由討論があると、なお良かった。

#### 4)分科会「C」13:00～16:00 (スタッフ2名)

講師:中西佳代子(株式会社ランドスケープアンドパートナーシップ代表取締役)

テーマ「ずっと住み続けたいまちをつくるのは私たち」

「ワールドカフェ」の手法を学ぶことが、この分科会の主題である。

##### ①講演内容

・まちの持っている魅力(歴史的な環境、文化的な環境、自然環境)を大切にすることが、暮らし続けたいまちをつくっていくことにつながる。

・競争でなく調和をもとに景観を統一し、街の個性や魅力を引き出すことが出来る。

そのためには、地域の様々な人たちのコミュニケーションを深め、課題を整理し、歴史、文化、自然の価値を共有することが大切である。

##### ②ワールドカフェの実践

受講者がグループに分かれて、次の3つのテーマでワールドカフェを体験した。

・「懐かしい街の風景」・「今の八王子の魅力」・「まちづくりのために、今私ができること」

分科会「C」は、受講者がもっとも少なかったが、「ワールドカフェ」のテーマは身近なもので、

自分たちのまち「八王子」のことで、討論は盛り上がった。初めてワールドカフェを体験した人は、非常に面白かったとの感想を述べていた。

#### 5)クロージング 16:00～16:15

分科会終了後、再び全員がメイン会場のホールに集合し、各分科会の講座内容の概況を5分づつ、各講師が発表した。

#### 6)アンケート結果

今回、アンケートの集計が19枚と非常に少なかったが、内容は好評である。

##### \*)参考資料

資料-23 第3回八王子NPO会議報告書

資料-24 第3回八王子NPO会議会場風景

### 4.3 団体訪問調査

#### 1)平成23年度

##### 内容

NPO八王子会議に先立ち、八王子地域に本拠を置くNPO法人約200団体の団体情報の収集を企画しました。八王子市民活動協議会の理事及び関係者に調査団体割り当て表を作成し、調査を依頼しました。狙いとしては、団体情報の収集がメインであるが、八王子市民活動協議会のメンバーが直接地域のNPO団体とコンタクトすることにより、日ごろから情報交換のコミュニケーションラインを築き、地域ネットワーク構築の基盤とすることです。

##### 結果

連絡をとっても連絡つかなかったところや、休眠状態また個人でやっており調査に対応できない等もあり、コンタクトでき、調査に協力していただいた団体は、約100団体でした。

##### \*)参考資料

資料-25 団体訪問調査表リスト

#### 2)平成24年度

八王子地域の市民活動団体情報収集と、直接コンタクトすることによるコミュニケーション良化とネットワーク作りを狙いとして訪問調査を実施しました。

八王子市民活動協議会の理事及び関係者に調査団体割り当て表を作成し、調査を依頼しました。

一昨年、昨年に引き続きの調査になりますので、今回は市民活動団体の具体的なニーズ(人材・もの・資金)の把握を大きな目的として調査しました。

八王子NPOパワーアップ事業としてはこれらの情報を市民活動団体の環境整備に対するニーズとしてNPO八王子会議、NPOパワーアップ講座の中で活かしていきます。

**結果**

調査計画対象112団体に対し、何らかの調査を実施できたのは93団体でした。回収率83% 今回の調査対象団体は、福祉関係等大規模なところが多く、58%が事務所を持っておられたのは予想以上であった。

その他、物品、人材に対する要望が約25%であった。資金に対しては明確に要望があったのは14%にとどまっている。これらは予想を大幅に下回っている。

具体的な話の例では、団体の後継者が見つけれない、人材では経理の分かる人が欲しい等の話が多い。これらはまさにNPOパワーアップ講座の狙いにあっている。又助成金情報が欲しいとの話があったが、実際には八王子市市民活動支援センターのホームページ等で紹介している。これらの情報をもっと伝える工夫が必要である。今後さらに分析を進め改善に活かしていく。

**\*)参考資料**

- 資料一26 H24年度団体訪問調査リスト
- 資料一27 NPO会議団体訪問記録例
- 資料一28 NPO会議団体訪問アンケートグラフ

**5. 事業実施上の課題**

**5.1 資金**

東京都の助成金がH24年度で終了し資金的に極めて厳しい状況であるが、事業実施に結果、参加者からは極めてよい評価をいただいている。またNPO法人格取得、助成金獲得、ネットワークの芽が出る等具体的な成果も出てきている。八王子地域のNPOの力を結集する基盤として、是非とも継続したい。次の対応を行い、事業を継続する。

**1)八王子市市民企画事業補助金獲得**

H25年度市民企画事業補助金に応募し、幸いにして上限の1,000,000円を獲得した。但し助成率は50%であるので、補助金以上の自己負担金が発生するため、コスト削減、収入アップがとして必要である。

**2)コスト削減**

著名な講師陣による講座で集客し、講座の評価を高める。将来地元の講師に切替えコストを削減する。しかし平成24年終了時点では「NPOパワーアップ講座」は1回実施しただけであり、自立できるだけの基盤は固まっていないため、講師の先生方に講師料の切り下げをお願いし、何とか了解を得ている。

**3)受講料アップ、枠拡大により講座収入を増やす。**

協賛していただく企業の会議室をお借りできることになり、人数枠を増やすことが可能となった。今年度までは市民活動団体に限定していたが、H25年度は市民活動での活動する志を持った個人にも受講を認めることとした。

団体向け連続講座	H24年度	H25年度		
団体数	15団体	15団体		
個人	0人	5名		
受講料(団体)	15,000円	17,000円	<b>H24年度</b>	<b>H25年度</b>
受講料(個人)		10,000円	<b>270,000円</b>	<b>365,000円</b>
受講料合計	225,000円	305,000円		

**ITの基本講座**

個人	15名	15名
受講料	3,000円	4,000円
受講料合計	45,000円	60,000円

4) 民間の助成金を探索・活用する。協賛金獲得も目指す。

## 5. 2 講座で得た知識/ノウハウをいかに自団体の運営に反映していただくか

幸い講座のアンケートでよい評価をいただいておりますが、実際の活動には反映されないということがよくあります。地元で実施する講座ですので、これでOKとはいきません。講座で学んでいただいたことを実際に団体運営に活かしていただくまでが仕事と考えています。

### 1) 受講団体の変化を把握する

今回の受講団体の現状/変化点をアンケート調査しました。

幸い日頃から身近な団体ですので地道にコンタクトしていきたいと考えていきます。

### 2) 情報交換の場を活用する

今後もメーリングリストによる情報交換を行い、2回/年程度実際に顔を合せての情報提供/情報交換を行う。

各団体のイベント等情報を気軽に流していただけるよう折に触れ働きかけていく。

## 6. モデルとして他のNPO・行政等に紹介する仕組み

### 1) 意識の向上を図る「NPO八王子会議」と団体の実務能力アップを図る「NPOパワーアップ講座」をリンクしたこと

えてして情報交換を目的とした大きな会議は良い情報を得た、自分たちもしっかりやらねばならないと思っても、その思いを活かす受け皿がなく、そのうちに思いが薄れてしまうことが多い。本事業はその向上意識を、「NPOパワーアップ講座」で団体の実務・やり方を学ぶという具体的な行動につなげることができる。

講座にとっても、単独で開催しても向上意識に薄い人にとって、価値がわからず高い受講料が、受講者募集に大苦勞する。会議により問題意識を持った人が増えることは大きな助けとなる。

### 2) 特に講座を親密なネットワーク構築の手段と考えていること

これは都心で同じような講座を開催しても、それほど効果は見込めないと思います。八王子と言う地元で地元の団体が地元の団体対象に実施する講座であるからこそできることと思います。スタッフの我々は受講団体は身内といった感じがします。あらたにNPO法人格を取った団体の設立記念講演会ではみんなで手伝いました。まだまだ問題は山積みですが地元で自分たちの手で開催して良かったと思っています。

### 3) 講座の知識を何とか自団体に活かしてもらいたいと工夫していること

#### ① 2名/団体受講を基本とする

これは今までの受講体験から工夫したことです。

1人受講では、自分自身の理解に不安があることが有ります。また良い案と自団体に持ち帰っても、反対されると孤立無援になります。もう一人仲間がいると、心強いし、説得力も出ます。先述のNPO法人格を取った団体のメンバーも常時2人で受講され大変心強かったと喜んでいただきました。

#### ② フォローアップ体制

会計講座、パソコン講座受講者に対しては個別相談の費用を負担する計画を立てました。しかしこれは見込み違いでした。利用者がパソコン講座では2名、会計講座では1団体でした。今回の受講者は初歩の方が多く、このレベルの人にとって個別に相談するなんて敷居が高すぎたようです。会計に関しては、2つのレベルに分けフォローアップ講座を実施しました。少しレベルの高いグループは、結構質問が出て、集団相談会の様相でした。

#### ③ 中間報告会の実施

今年度の講座を実施して、各講座は講師の熱意もあり大いに盛り上がりました。アンケート結果も大好評でした。ただしこれが各団体に活かされるのか不安でした。中間報告会を設け、各団体の取り組み状況を報告していただくように計画しました。これを目標に各団体内で、検討を進めていただくことが狙いでした。ところが中間報告会で取り組み状況を聞くと、講座を



活かした活動を取り入れ始めた団体はごくわずかでした。

これは本講座が毎週あり、講座をかみ砕き自団体に活かす時間がないことも一因と考えるため、次項の改善を来年度実施します。

#### ④本講座と本講座の間に自主検討日(フォローアップ日)を設置

これは平成25年度からの実施となります。

講座でのアイデアを受講者、スタッフが一緒になって、具体的な自団体の活動に落とし込むフォローアップ日を設けます。

講師は参加しませんが、会場は確保し、スタッフが参加します。具体的なやり方は検討中です。

## 7. 平成25年度以降の予定

コストは削減しますが、内容はさらに充実し実施します。

### 1) 講座内容の一部変更

#### ①助成金申請講座の内容変更

H24年度は日本財団から助成金担当者に来ていただき、助成金の書き方を学び大きな成果が出ましたが、H25年度は、積極的に事業を広げ、事業資金を多彩な方法で調達しておられるNPO法人を訪問し、お話しを聞く口座としました。助成金獲得にしても、ファンドレイジングにしても耳学問が多いので、今回は実際の現場で活動しているダイナミックな団体の本音をお聞きし具体的なヒントを得るのが狙いです。

#### ②事務局の役割講座一部変更

コミュニケーション研修偏重であったので、午前中は事務局実務を、経験豊富な実行委員が講義することにしました。

#### ③本講座と本講座の間に自主検討日(フォローアップ日)を設置

前項の3)④に記述した狙いで本講座と本講座の間にフォローアップ日を設けます。

このためフォローアップ日も含めると全部で17日の長期講座となります。

#### \* ) 参考資料

資料-29 (H25年度)NPOパワーアップ講座

## 8. その他

### 8.1 広報

#### 1) パンフレットデザイン決定

昨年度のデザイナーに専門家として加わっていただき、「八王子NPOパワーアップ事業」のブランドイメージ及びシンボルマークを決定した。「骨太化」3種類のパンフレット/チラシ/ポスターを作成した。



①「八王子NPOパワーアップ事業」+「NPOパワーアップ講座」パンフレット

②「ITの基礎」チラシ ③特別講演「新寄付税制のメリットと特徴」チラシ

専門のデザイナーにお願いし、インパクトのあるものが作成できた。

#### 2) 広報活動

①市の協働推進課の協力により、市内市民センター等にポスター掲示・パンフレット配布をした。

②八王子市民活動協議会及び八王子市市民活動支援センターの広報紙の配布ルートを活用し、パンフレット、チラシ等を郵送した。

③受講団体募集にあたり、市広報紙、八王子市民活動協議会広報紙「協議会だより」、支援センター広報紙「SUPPORT802」に随時紹介記事を掲載した。

④市内のNPO法人約200団体をリストアップし、電話で受講勧誘を実施した。

#### \* ) 参考資料

資料-30 チラシ/広報記事

資料-31 HP/ブログ





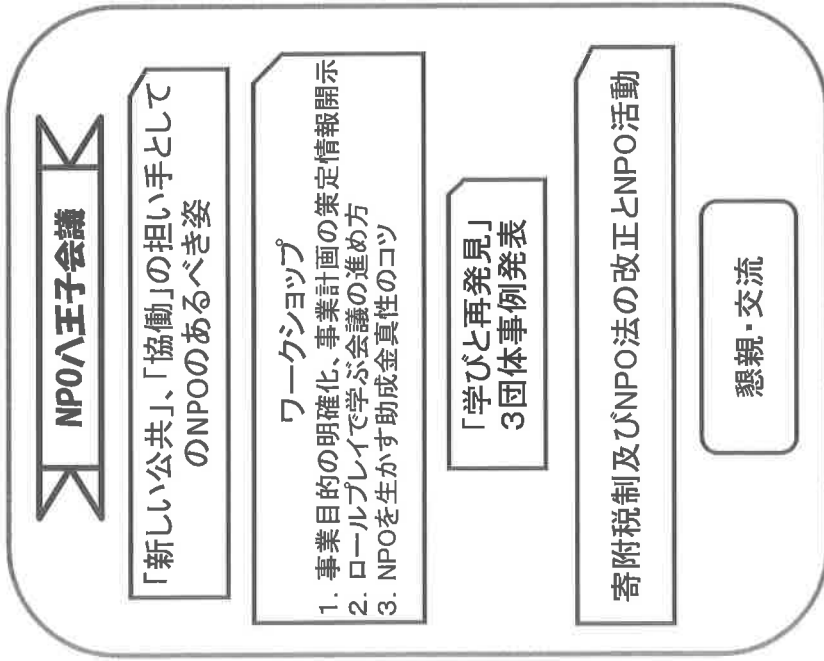
NPOパワーアップ 講座項目 & 内容概要

2012.10.28

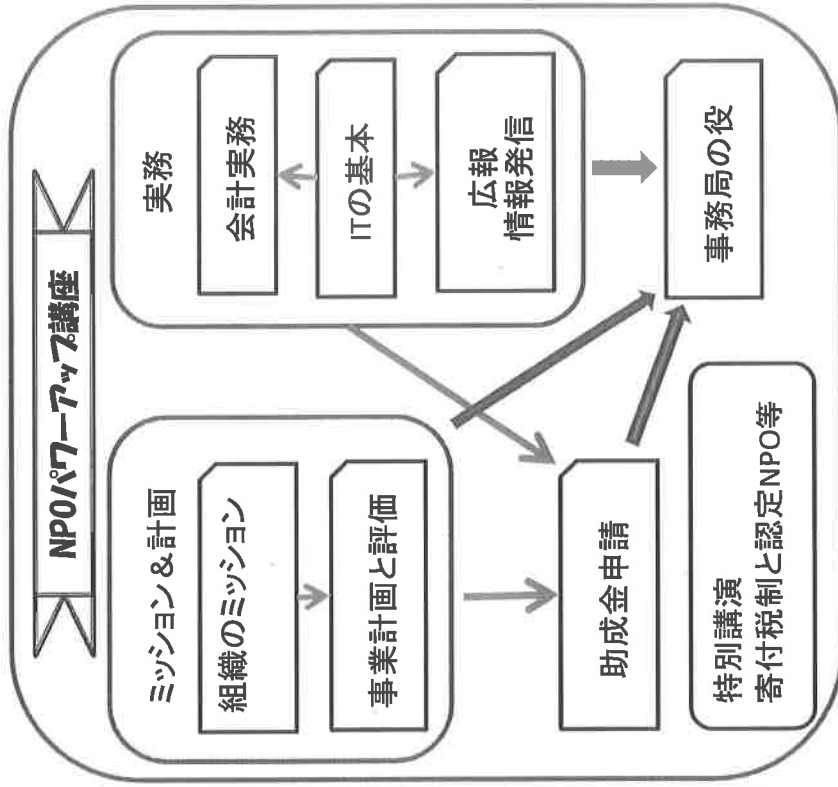
NO	日数	日程案	テーマ	概要	講師	対象者	備考	参加費
1	1日	6月7日	組織のミッションの明確化	組織運営の基本 組織のミッションの明確化 活動目標の明確化	法政大学教授 日本NPOセンター代表理事 八王子市民活動協議会顧問 山岡義典	理事長・事務局・理事 担当者	NPO存立の基本となる 組織のミッションの明確化 から 事業計画の立案までを学ぶ	
2	1日	6月14日	事業計画と評価	事業計画の設計 思いを成果に結びつけるプロセスのデザイン 事業評価 事業結果の評価項目・評価方法 結果を改善アクションに結びつける	IHOE [人と組織と地球のための 国際研究所] 代表者 川北秀人	理事長・事務局・理事 担当者		
3	1日	6月21日	事務局の役割	事務局の役割 仕事を円滑に進める方法 (コミュニケーション)	(株)チーム医療 梅本和比己	事務局・理事 担当者	組織運営の司令塔となる事 務局のポイントを学ぶ	
4	1日	6月28日	助成金申請	申請書作成のポイント 事業企画立案 実施効果表現他	日本財団広報グループ 和田真	事務局・理事 担当者	組織財政基盤確立の重要な 助成金申請のノウハウを学 ぶ	団体として募 集 2名/団体まで 参加可
5	1日	7月5日	情報発信	ITコミュニケーション ホームページの知識 メディアの活用 ブログ/ツイッターの活用	(株)ジェイ・ライン 大熊 雅樹 氏	事務局・担当者	組織運営の重要な実務を じっくり学ぶ	15,000円 /団体
計 画 外	半日	8月9日 15時～19時	中間報告会 (計画外)	パワーアップ講座を受講し自団体にどのように活用するか発表。 事例発表団体:八王子市民活動協議会 八王子子ども劇場 その他11団体(2団体欠席)は取組予定を簡単に発表 中間報告会後懇親会実施	(コメンテーター) 法政大学名誉教授 八王子市民活動協議会顧問 山岡義典	関係者全員	各団体の取り組みも参考に し、自団体の改善に活かす。 気軽に懇親交流する	
6	1日	9月6日	広報活動	人の集まるイベントの組み立て キャッチコピーのポイント チラシ作成の実習	八王子市民活動支援センター 川久保美紀子	事務局・担当者	組織運営の重要な実務を じっくり学ぶ	
7	4日	9月 6日 13時 20日 27日	会計業務	新会計基準について 会計業務の基礎 会計業務の実務(日常業務/決算業務)	著作権推進会議 八王子市民活動協議会団体会員	事務局・担当者		
計 画 外	半日	10月25日 15時～19時	修了式 (計画外)	団体向け実も講座の修了式実施 修了証書授与 各団体これまでの取り組み/今後の取り組み状況発表 修了式後懇親会	(コメンテーター) 法政大学名誉教授 八王子市民活動協議会顧問 山岡義典	関係者全員	各団体の取り組みも参考に し、自団体の改善に活かす。 気軽に懇親交流する	
8	3日	7月 12日 19日 26日	ITの基本	パソコン基本知識 インターネットの見方 メールの扱い Wordの基本 Excelの基本	情報ボランティア八王子 八王子市民活動協議会メンバー	事務局・担当者・ 団体一般メン バー	事務局関係に限定せず、一 般団体構成メンバーも対象と する。	個人として募 集 3,000円
9	1日	9月1日	特別講演 新寄付税制のメリ ットと特徴	新寄付税制について 新しいメリットと特徴について	シーズ・市民活動を支える制度を つくる会常務理事 関口 広聡	広い範囲に参加 呼び掛ける (50～100人)	その年のトピックスを講演 2月のNPO八王子会議のフオ ロー兼ねる (懇親交流会別料金)	個人として募 集 H24年度 500円 H25年度～

# NPO八王子会議 / NPOパワーアップ講座関連図

目的：  
大グループで、最新の情報、全国の状況、NPOの課題を共有化し、八王子地区のネットワークを創



目的：  
小グループで実務能力を身に着ける。  
親密なネットワークを創る



受け皿として実務研修が準備されている

相乗効果

会議で学習意欲が高められる



NPO訪問  
団体情報

事後アンケート調査

八王子市民活動団体のネットワーク

会議参加者(団体)の  
中広ネットワーク

研修仲間(団体)の  
親密ネットワーク

事後アンケート調査  
ニーズに合った内容へ

## 「八王子NPOパワーアップ事業」5つの特徴

### 特徴その1

意識面の気づき/向上を図る会議と実務能力をアップする講座を有機的にリンクしています。

#### NPO八王子会議

新たな気づきの場 相互連携や課題の共有、目標の設定などを行える場です。

#### NPOパワーアップ講座

気づきを、実務を系統的に学び団体の体質を強化する実務講座で実践します

### 特徴その2

ローカルで実施する事業です

- ①参加するのに近くて便利です。
- ②地域の実態に合わせた講座を工夫します。
- ③地元の身近な団体と一緒に受講します。

### 特徴その3

パッケージ(通し実施する)として受講する講座です。

- ①好きな講座だけ選ぶのではなく、  
団体として必要な実務能力をまとめてアップさせます。

### 特徴その4

実際に成果につながるような工夫をしています

- ①受講者は2名/団体です  
相談相手がいるので団体に戻っても孤立しません。
- ②サポーターがサポートします (2名/講座)
- ③無料でフォローアップを受けることができます。(会計 ITの基礎)

### 特徴その5

ネットワークづくりを図ります。

#### NPO八王子会議

百数十名が集まり情報、問題意識を共有する 新たな気づきの場で地域の巾広ネットワークづくりを図ります。

#### NPOパワーアップ講座

少数メンバーで長期の講座

受講者のOB会づくりをサポートし、実施にあたっての情報交換の場とし、あわせて親密なネットワークの構築の一助とします。

小人数で親密なネットワークづくりを図ります。

## H24年度NPOパワーアップ講座の反省と、提案

八王子NPOパワーアップ事業実行委員会 事務局

### 1. 全体の改善点

- ① 募集対象に個人も加える
- ② 各講座後にフォローアップ日を設ける
- ③ 各講座のレベルはあまり高くせず、必要に応じステップアップ講座を設ける

### 2. 個別講座の改善

講座名	講座毎の評価	問題点	改善案
◎ 開講式 講座初回という点から、全講義7種の流れ・関連付けについて受講者に丁寧な説明をすることでスタートして欲しかった意見が幾つか感じ取れた。		講座の全体の流れの説明が必要	事務局説明の中に講座の全体の流れの説明をいれる
①「組織のミッションの明確化」(山岡講師) 参加15団体の歴史・状況が様々であった結果が如実にできた科目のひとつ。但し、「とても良かった」「良かった」以外の評価はなく、次回以降も外せない。		講義内容を自団体のミッションに反映することが必要。他団体のミッションとの交流も望ましい	1週間後にフォローアップ日を設ける
②「事業計画と評価」(川北講師) この科目も高い評価だったが、実践的な面での体現感に至らなかったためか次回への必要性に繋がっていない。		講義内容を自団体の事業計画に反映することが必要。他団体との交流も望ましい	1週間後にフォローアップ日を設ける
③「事務局の役割」(梅本講師) 規模の差はあれ殆どの団体が直面する問題で、自団体に置き直した場合にどうなのかの視点から更に突込んだ部分を欲しているように思われる。また、第三回目に実施した順番が良いのかとの受け止め方もあった。		コミュニケーションは評価された。事務局の実務に関するノウハウの提供が必要	午前中は事務局実務を説明する。 午後コミュニケーション研修を実施する。
④「助成金申請」(和田講師) 団体の規模を問わず、この科目も関心が高い。ただ、事前の提出を求められていた課題の完成度のバラつきが多く、ワークショップ時のグループ分けに反映させるとか、事前提出を徹底してもらおうような対策も必要。また、より十分な添削を求める意見もあり、この講座もアフターフォローを出来るのであれば歓迎されそう。		申請書作成指導は具体的に好評であった。助成金獲得・申請済みを含め7団体が行動している。	25年度は、実際に多彩な事業資金を獲得している団体を訪問し、ノウハウを聞く。
⑤「情報発信」(大熊講師) 受講者のレベル差が大きかったが、ブログの立ち上げまで体験できた達成感を味わえた満足感が同える。但し、時間が足りない感じや継続した活用への期待感があり、これらにも応えられれば完璧なものに出来そう。		全員がブログを作成したのは素晴らしいが、その後継続している人がほとんどいない。時間をとおいたフォローアップが必要	全員がブログを作成したのは素晴らしいが、その後継続している人がほとんどいない。時間をとおいたフォローアップが必要
⑥「広報活動」(川久保講師) 前半の説明と後半の実技の各々に差が生じているのは、団体や受講者のレベルがバラバラな結果によると思われる。7講座の中では必須科目と受け止めた受講者の割合が一番少なかった。		イベントの企画は良かったが、チラシの作製は少しレベルが高かった。 ステップアップ講座が望ましい。	基本講座＋ステップアップ講座とする。
⑦「会計業務」(板垣講師) 「とても良かった」「良かった」の割合が7講座中、最も高く次回でも取り上げるべきとの声も一番。パソコンなどの技法に依らない講義であったにも関わらず好評だったのは、市民団体の実務者に経理に精通した人が少ないためと思われる。一般的な技法はそれなりに接する機会があるが、会計より分野は相当の意欲がないと学ぶ機会が少い背景にあって、講義全般が高く評価された。		内容が豊富で、アンケートによる評価も高かったが、理解度は今一つであった。 個別相談システムは利用団体が少ない 基本講座＋ステップアップ講座が望ましい。	基本講座＋ステップアップ講座とする。
*「中間報告会」 交流の場が持てたこと自体の評価は高かったが(自由記入欄から)、成果発表よりも途上にある団体の後押しになるような形を求める意見もあり、次回に関しては内容を再検討したほうが良いかも知れない。		2団体に具体的な取り組みを発表していただいた。残りの団体には取組計画を発表していただくつもりが、自団体の紹介が多かった。 懇親会は良い交流の場になった。	発表団体以外も取組計画を発表していただくことを徹底する

東京都新しい公共支援事業「八王子NPOパワーアップ事業」

## 組織のミッションの明確化講座実施報告

平成24年6月7日

八王子NPOパワーアップ事業実行委員会

八王子NPOパワーアップ事業実行委員会主催のNPOパワーアップ講座の第1回の講座「組織のミッションの明確化」がスタートしましたので概要を報告いたします。

1. 開催日 6月7日(木) 10:00～16:30
2. 会場 午前 市民活動支援センター 午後 労政会館
3. 参加者 15団体各1～2名 計24名  
協働推進課 榎津主査 山口主事  
主催者スタッフ 8名
4. 講師 山岡義典八王子市民活動協議会顧問(前法政大学教授、  
日本NPOセンター代表)
5. テーマ 組織のミッションの明確化
6. 概要

### 6.1 当日進行

#### (1)開講式

NPOパワーアップ講座として第1回目であるので開講式を行った。  
主催者として石井実行委員長の趣旨説明に続き、協働推進課榎津主査行政の立場からの期待と協力体制の説明があった。  
引き続き事務局より、講座の特徴の説明後、講師紹介、受講団体参加者の自己紹介があり、午前の部を終了した。

#### (2)講座

午後より会場を「八王子労政会館」に移し、山岡講師による講義、4グループに分かれてのワークショップが実施され、各グループの発表に対し、山岡講師の講評があり1回目が終了した。

### 7. まとめ

- ① 6月7日(木)にNPOパワーアップ講座の開講式と第1回講座として山岡先生による「組織のミッションの明確化」を実施しました。
- ② 参加団体は15団体、24名で、4グループに分け、ワークショップを実施しました。
- ③ ワークショップも、団体リーダークラスが集まっておられるだけあって活発な意見交換があり早速活動を交流できそうな例も上がっていました。好評なアンケート結果をいただきました。
- ④ アンケート結果では理解度は高いようであるが、実際の自団体のミッションの見直しにつながるかは疑問が残る。見直した結果を披露しあう等の場の設定を検討したい。
- ⑤ 開講式はテレメディアのニュースで放映された。

平成 24 年 6 月 15 日

## 事業計画と評価講座（第 2 回）開催メモ

1. 受講者：大福(協)、春本(協)、野中(緑)、角田(コーディネ)、深澤(コーディネ)、鶴(著)、仲井(著)、奥村(滝山)、八木(滝山)、齋藤(情ボラ)、本田(スポーツ)、平井(志事)、村上(こども)、木村(こども)、福田(ウェル)、立川(ウェル)、中村(第五)、松本(ワーク)、加藤(安全)、新井(音楽)、高倉(すまいる)、小田切(すまいる) の 22 名

欠席者：加藤(緑)、奥田(スポーツ)、竹原(第五)、土居(ワーク：終わり際に顔だし)、の 4 名

2. 出席者：山口主事[協働推進課]、石井委員長、浅野、武田、岩田事務局長、植村、川久保、  
(敬称略) 三橋、堤(記録)

3. 日 時：平成 24 年 6 月 14 日（木）10 時 30 分～16 時 40 分

4. 場 所：西武信用金庫八王子支店 2 階会議室

5. 資 料：

- ①グループ分け・講座次第
- ②川北講師パワーポイント資料
- ③パソコン講座案内ちらし
- ④アンケート用紙

6. メモ：

(1) 川北講師の講義

資料 NPO マネジメント第 10 号、第 32 号、第 59 号

・刊行物約十数種販売案内。

・ 4 グループによるワークショップ：

模造紙・ポストイット多用

- ①「活動・業務のニーズを再確認しよう！」 11:30~11:45(11:45~昼食休憩)
- ②「ニーズを踏まえつつ今年度の事業のポイント」 12:55~13:15(昼は 12:45 再開)
- ③「特に重要な事業活動の計画をつくる」 13:45~14:00(14:00~14:15 トイレ休憩)
- ④「評価」 14:50~

・・・個別団体（各人）の作成したものを、15:20 からグループを超えたメンバー間  
及びお手伝いの人も加わってランダムにポストイット 7 枚以内でコメント。

(2) その他

・西武信用金庫小町支店長から P R 16:20~16:35

以上



平成24年6月22日  
堤(記録)

事務局の役割講座(第3回)開催メモ

1. 受講者：野中(緑)、東(コーディネ)、深澤(コーディネ)、樋口(著)、鶴(著)、八木(滝山)、齋藤(情ボラ)、本田(スポーツ)、平井(志事)、村上(子ども)、井口(子ども)、福田(ウエル)、立川(ウエル)、中村(第5)、竹原(第5)、松本(ワーク)、加藤(安全)、鈴木(安全)、新井(音楽)、篠原(音楽)、高倉(すまいる)、小田切(すまいる)、岡崎(協)、堤(協)、の24名

欠席者：加藤(緑)、西山(滝)、奥田(スポーツ)、土居(ワーク)、の4名

2. 出席者：榎津主査(午前中) 石井委員長、岩田事務局長、川久保、大山(AM)、植村(PM)

3. 日時：平成24年6月21日(木) 10時00分～16時40分

4. 場所：西武信用金庫八王子支店2階会議室

5. 資料：

- ①グループ分け・講座次第

- ②梅本講師「会議のロールプレイ事例演習」

- ③梅本講師パワーポイント資料

- ④アンケート用紙

- ⑤助成金申請サンプル・・・次回の講座用

メモ：

梅本講師の講義

- ・ジャンケンで他己紹介スタート(アイスブレイク)

- ・4グループによるワークショップ：

プロジェクターで③に則った講義の中で実習を多用(主なワークショップは次の通り)

- ①二人組みになり、ジャンケンで質問を繰り返し5点以上を聞きだして相手を紹介。

- ②グループ(各6人)に①を展開

- ③プロジェクターで映し出された「事務局の役割」に付け加える項目をグループ討議

- ④おとぎ話「桃太郎」から役割分担をどのように受け止めるかをグループ討議

- ⑤各自が子供時代の食卓を画用紙に描き、グループ内で発表

- ⑥「プロジェクトから外された苦情の受け止め方」を実習し、相手の顔を立てるコツ。

- ⑦各グループで課題提起者とファシリテーターを各一人選定し、「質問会議」のロールプレイ事例演習

- ・・・個別団体(各人)の作成したものを、15:20からグループを超えたメンバー間及びお手伝いの人も加わってランダムにポストイット7枚以内でコメント。



以上

2012年7月1日

東京都新しい公共支援事業「八王子NPOパワーアップ事業」  
助成金申請講座実施報告

八王子NPOパワーアップ事業実行委員会

八王子NPOパワーアップ事業実行委員会主催のNPOパワーアップ講座の第4回の講座  
「助成金申請」講座の実施概要を報告いたします。

1. 開催日 6月28日(木) 10:00～16:30
2. 会場 西武信用金庫八王子支店会議室
3. 参加者 15団体各1～2名 計24名  
主催者スタッフ  
石井実行委員長  
サポーター 4名(A:岩田、B:堤、C:浅野、D:植村)  
事務局 4名(うち3名はサポーター兼)
4. 配布資料
  - ① (1) 和田講師の準備されたパワーポイント資料(計45頁)
4. 講師 和田真氏  
日本財団 広報グループ
5. テーマ 「助成金申請」
6. 概要
  - 6.1 当日進行  
事務局説明
  - 6.2 講座内容  
参加者はグループ分け表にある4班に分かれ、和田講師がパワーポイント資料(計45頁)に基づいて講義&演習
    - (1) 進行
      - ① 助成金申請書作成のポイント
        - ・ ～10:45 各グループ内で事前宿題であった各グループの申請書を回し読み説明。  
(この時間は質問なし) 講師に提出
      - ② 事業計画の立案と助成金申請
        - ・ 15:05～15:20 配布資料28～33頁に基づき説明
      - ③ 実施効果測定、報告書の作成他
        - ・ 15:20～16:05 配布資料34～37頁に基づき説明  
実施効果測定:Before/Afterがわかりやすい(写真/数字)。  
数値化し難いものも、アンケート活用し変化・効果を説得。  
写真なども、暗いより明るくなった笑顔でPRした方が効果的。  
報告書は、“白書”として出すとその分野でリーダーになれる可能性。
      - ④ 日本財団の紹介
      - ⑤ まとめ&質疑応答
        - ・ Q:財団の東日本支援金額? → 58億6100万円
        - ・ Q:資金援助なしでも取り組む姿勢は助成金支給にプラス? → YES(やる気感じる)
        - ・ Q:悪化阻止事業は数値効果測定困難 → 表現工夫する。基本的には行政の管轄分野。
7. まとめ
  - ① アンケートから見たこと
    - ・ 第一回～第三回と理解度が低下していたが、今回は第三回よりは上昇。
    - ・ 今回理解内容の設問を少し細分化したが、助成金申請に直接関係する部分はそれなりの理解を得たものの、報告書の活用に関しては理解が薄かった。
    - ・ 「他団体の申請書は参考になった?」の問いに対し90%以上が参考になった以上を付けていただいたのは実際に申請書を書いてきていただいた狙いが当たった。
    - ・ 「是非助成金申請にチャレンジしたい」にチェックした人が10名おられたことは予想以上であった。成果に期待したい。
    - ・ 他団体との交流が比較的高い数字を得たのは、お互いの具体的な申請書に基づき意見交換できたことが高評価につながったものと考えられる。
  - ② 今回は助成金申請書フォーマットを事前に配布し、申請書を書いていただきワークショップメンバー用に10部コピーを持参していただく宿題を出した。  
目的としては受講者ご本人たちに事前に考えていただくことと、団体としても基本データを提供する等の団体としての協力体制を得る狙いもあった。  
結果として事前準備していただいたのは50%程度であった。さらに一工夫要す。
  - ③ 2月のNPO八王子会議の際も同じ和田講師で「NPOを活かす助成金申請のコツ」講座を持ったが、時間が2時間半と短かったこともあり消化不良気味であった。今回は事前に申請書を作り、講義で示されたポイントで見直すという2段階を踏むことにより、Before/Afterの違いを実感することができ、やれる感が生まれ、是非チャレンジしたい人10名の結果にもつながったと考えられる。  
これはNPO八王子会議で意欲を高め、NPOパワーアップ講座で実務を学ぶという「八王子NPOパワーアップ事業」の狙いにピッタリ合った結果と考えられる。
  - ④ これまで3回の講座を実施し、講師の経験に富んだ、且つ、熱のこもった講義をうけ、受講者も熱心に講義を聞き、活発で有益な意見交換がなされ、団体間の交流も始まりました。アンケート結果も高い評価をいただいています。さらにこれを各団体の実際の改革につなげて頂くために、8月9日に中間報告会を開催し、各団体の取り組みを報告していただくことを提案し、ご賛同いただきました。報告会後には懇親会を持ち、パワーアップ事業のもう一つの目的「親密なネットワーク構築」につなげていきます。

以上

2012年7月6日

東京都新しい公共支援事業「八王子NPOパワーアップ事業」  
「情報発信」講座実施報告

八王子NPOパワーアップ事業実行委員会

八王子NPOパワーアップ事業実行委員会主催のNPOパワーアップ講座の第5回の講座  
「情報発信」講座の実施概要を報告いたします。

- 1. 開催日 7月5日(木) 10:00～16:30
- 2. 会場 八王子市市民活動支援センター
- 3. 参加者 15団体各1～2名 計25名  
主催者スタッフ  
協働推進課:国久主任  
サポーター 3名(川久保、植村、堤)  
事務局 4名(うち1名は受講兼、2名はサポーター)

4. 配布資料

- |      |   |                                  |
|------|---|----------------------------------|
| 配布資料 | { | (1) ITコミュニケーション講座次第              |
|      |   | (2) 参加者名簿                        |
|      |   | (3) テキスト「ITコミュニケーション」(パワーポイント資料) |
|      |   | (4) テキスト「ブログマニュアル」(パワーポイント資料)    |
|      |   | (5) アンケート用紙                      |
|      |   | (6) NPOパワーアップ講座中間報告会案内(申込書)      |

5. 講師 大熊雅樹氏(ジェイ・ライン株式会社)

6. 概要

- 6.1 当日進行  
事務局説明
- 6.2 講座内容

- ・ (パソコン持参者は講義開始前或いは昼食時にネット接続確認)
- ・ 4つの机配置のうち1つをパソコン初心者に割り当てたが、参加者の座席はフリーに。
- 講義 …… 大熊講師がパワーポイント資料(配布資料1・2)を使い講義。
- 10:10 ～ 10:30 会社紹介・自己紹介～生活者が接触するメディアの変化
  - ・ 「浜松のテテル(ショップ案内)方式を八王子で展開したい」との講師の夢
  - ・ インターネットはテレビに次ぐメディア影響力
- 10:30 ～ 12:00 ホームページの活用～ブログ(Web Log)に由来)の活用(2)ブログで検索エンジン対策
  - ・ ブログは日記だけでなく情報発信の有力手段
  - ・ 検索エンジン対策の面でもブログは有効
- 12:00 ～ 13:00 昼休憩
- 13:00 ～ 14:00 実習(“たまりば”登録とブログ開設)
  - ・ (ほぼ全員が開設できたが、初心者にはもう少し時間をかけた方が良かった)
- 14:00 ～ 14:55 ブログの活用(3)事例～ブログの活用(4)アクセス数アップの極意
- 14:55 ～ 15:05 休憩
- 15:05 ～ 15:25 ソーシャルメディア活用(1)～(3)
- 15:25 ～ 15:50 メディアの活用(1)～まとめ
  - ・ ネットから新聞へ連動させるコツの伝授
- 16:15 ～ 16:20 掲示板活用について

7. まとめ

- ① アンケートから見たこと
  - ・ 会場の狭さや椅子の座り心地の悪さは否めなかった。
  - ・ 経費節約の観点から、配布資料を白黒・50%縮小したが、見難かった。
  - ・ 比較的関心の高いテーマだったはずだが、今までの講座と理解度は同程度。
  - ・ 今回の講義の性格上から止むを得ないが、他団体との交流は殆ど出来なかった。
- ② その他
  - ・ 25台が一斉にネット接続したが何とか問題なく作業ができた。
  - ・ …… 台数面で処理時間が遅くなる傾向は間違いなくあったが、“たまりば”は自宅での単独作業時でも、数多くある他のブログ提供会社のものと比べても処理時間がかかる傾向あり。
- ③ 8/9中間交流会への申込者
  - ・ 本日の申し込みは4団体(7～8名) 情報ホラ・志事塾・第5G・すまいるカフェ  
以上

2012年9月6日

東京都新しい公共支援事業「八王子NPOパワーアップ事業」  
「広報活動」講座実施報告

八王子NPOパワーアップ事業実行委員会

八王子NPOパワーアップ事業実行委員会主催のNPOパワーアップ講座の実技講座  
「広報活動」講座の実施概要を報告いたします。

1. 開催日 9月6日(木) 10:00～16:30
2. 会場 八王子市市民活動支援センター
3. 参加者 14団体\_計21名(午後のチラシ作成は19名)  
主催者スタッフ

## 4. 配布資料

- (1) 座席表
- (2) テキスト(パワーポイント・コピー)
- (3) チラシの作り方 手順
- (4) アンケート用紙

5. 講師 川久保 美紀子氏

## 6. 概要

6.1 当日進行  
事務局説明

岩田事務局長から講師紹介

## 6.2 講座内容

- |               |  |
|---------------|--|
| 10:00 ~ 11:00 | 配布資料(2)に基づいた講義<br>(イベントの手順、大事なものは企画・年代別注目テーマ&イベント開催時間帯、<br>タイトル・キャッチフレーズを決める、タイトルキーワード、エセナ大田事例紹介)  |
| 11:00 ~ 11:55 | ワークショップ①・・・タイトルを考えてみよう<br>2~4人毎の7グループで討議し、<br>タイトル「健康一番! プロから学ぶすば打ち教室」<br>サブタイトル「～高尾のそばでまちづくり 作って食べてコミュニケーション～」<br>に一本化し、午後のチラシづくりの題材に用いることになった。 |
| 11:40 ~ 11:50 | 午前中の講義の纏め  |
| 11:50 ~ 11:55 | 午後の説明<br>{昼休憩}   |
| 13:00 ~ 14:45 | ワークショップ②・・・チラシを作ってみよう<br>全員パソコンを使った実技(チラシ本文)   |
| 14:45 ~ 15:00 | {休憩}   |
| 15:00 ~ 16:20 | 全員パソコンを使った実技(イラスト追加やフォント変更など)  |
| 16:20 ~ 16:30 | 質疑応答<br>QRコード・ポスター印刷・印刷コストなど   |

## 7. まとめ

## ① アンケートから見えたこと

- ・ 今回は70歳以上は皆無で、広報活動は或る程度若い人が実務を担うことが多いと思われる。
- ・ 一連の講座に中では理解度が比較的高かった。
- ・ 全ての回答者が自分でチラシを作ってみたいという気持ちを持ったのは特筆すべき。

## ② その他(記録者の個人的感想含む)

- ・ 前項①の1から実務担当者はキャリアを然程踏まない人が担う場面が多い様子が伺えるが、テクニックだけでなく午前の講義にあったようなイベントの意義を理解する必要性を意識してもらえれば各団体にとって大きな成果になる。
- ・ 講義の組み立てがしっかりしていたことが受講者に十分伝わったと思われる。
- ・ 大人数の受講者(&会場の狭さ)で止むを得ないが、サポートに手間取り、その分を考慮すると午後のワークショップを若干ペースダウンしても良かった感も残った。

以上

2012年9月20日

東京都新しい公共支援事業「八王子NPOパワーアップ事業」

## 「会計業務」講座②(NPO会計と法人税制)実施報告

八王子NPOパワーアップ事業実行委員会

八王子NPOパワーアップ事業実行委員会主催のNPOパワーアップ講座の実技講座  
「会計業務」講座②(基礎:NPO会計と法人税制)の実施概要を報告いたします。

1. 開催日 9月20日(木) 10:00～16:30
2. 会場 八王子市市民活動支援センター
3. 参加者 19名  
サポーター:石井・大福・岩田

#### 4. 配布資料

- (1) 座席表
- (2) 初回テキスト目次(事務局作成分)
- (3) テキスト補助資料(パワーポイント原稿コピー)
- (4) テキスト「NPOの会計と税務」

5. 講師 板垣 力 氏

#### 6. 概要

##### 6.1 当日進行

岩田事務局長から挨拶

##### 6.2 講座内容

- |               |   |
|---------------|---|
| 10:05 ~ 10:10 | 前回のおさらい<br>・・・ 初回テキストP13,20,23,24,28,48,49,53 |
| 10:10 ~ 12:00 | 初回テキストの残りの講義(P67～91)                          |
| 12:00 ~ 13:00 | {昼休憩}   |
| 13:00 ~ 14:25 | テキスト「NPOの会計と税務」P1～12<br>&補助資料P1,2,3,4         |
| 14:25 ~ 14:35 | {休憩}  |
| 14:35 ~ 16:00 | 補助資料P11,12,13,16,17                           |
| 16:00 ~ 16:01 | 事務局連絡   |

#### 7. まとめ

- 用意するよう言われていた電卓は今回も使わなかったが、次回は使うとのこと。
- 前回91頁にも及ぶテキストを講師が35冊持参されたが、今回も配布資料3及び4にある各々25～24頁の追加テキストを持参された。
- 前回同様てきぱきした講義で、質問も頻繁に飛び交ったが丁寧な回答をして戴いた。
- 内容的にかなり専門的で、受講者によっては難しく感じた人もいた可能性が高い。

以上

## 会計講座テキスト目次及びポイント

頁	項目	ワンポイント・メモ
56	「合理的に算定できる場合」、「客観的に把握できる場合」とは	「合理的に算定できる場合」の要件に加えて、計上されている金額を、外部資料等によっては把握できること
57	使途等が制約されている寄付等の扱いについて	使途に制約があるものはその使途ごとに寄付金等の増加額、減少額、期末残高を注記
58	その他の事業を行っている場合の活動計算書について	定款に掲げるその他の事業を行っている場合には、その他の事業の会計を特定非営利活動に係る事業の会計と区分
59	その他の事業で得た利益を繰り入れた場合について	「当期経費増減額」欄の下に「経理区分振替額」欄を設けて処理。
60	その他の事業を行っている場合の貸借対照表について	貸借対照表を区分して表示するかは法人の任意。重要性が高いものは財務諸表に注記。
64	決算の手続きで必要なことは	未収金、未払金、前受金、棚卸資産、固定資産、減価償却費の計上や共通経費核分、および注記の記載。
65	未収金の会計処理について	活動の実態を表すため未収金勘定を設ける。
66	会費は未収計上するのか	未収金費額は「納入の確約ができていない未収金費額」や、「決算書を作成するまでの期間に実際に納入された未収金費額」
67	未払い金の会計処理について	すでに物は購入しているが支払いは未期になるもの
69	スタッフの立替払いがある場合の処理	未払い金勘定を立て、発生日と清算日のギャップを埋める。
71	電話代、電気代なども未払計上するべきか	毎月発生するので、未払計上あるいは前払計上せずに、支払時に費用として良い
72	前払金の会計処理について	「会費費」など活動計算書の費用の部から除くとともに、「前払金」を貸借対照表の資産の部に計上
74	前受金の会計処理について	「事業収益」を活動計算書の収益の部から除くとともに、「前受金」を貸借対照表の負債の部に計上
75	助成金・補助金は前受計上するのか	助成金や補助金で、未使用額の返還義務が課されている場合には、未使用額を負債として計上
79	棚卸資産の会計処理について	デキスに製作など、今期だけでは販売できず在庫になった場合、活動計算書の「印刷製本費」から同額を貸借対照表の「棚卸資産」に計上。
80	減価償却費の計上について	減価償却の方法には、主に「定率法」、「定額法」等がある。
82	法人税の会計処理・表示方法について	法人税法上の収益事業を行っている場合には、法人税、法人都道府県民税、法人市町村民税、法人事業税などの納付が必要
84	共通経費の核分について	「共通経費」を決算のときに一定の比率に応じて各事業や管理費に分ける作業が必要
88	財務諸表の注記の記載について	PO法人会計基準では「注記」を非常に重視。10項目で該当あれば、必要
89	役員及びその近親者との取引について	NPO法人と役員及びその近親者との間の取引は原則として注記を要する
90	会計基準移行時の注意点について	継続性・活動計画書や貸借対照表の引継ぎ。

頁	項目	ワンポイント・メモ
1	はじめに	
2	会計の目的とは	3つの視点(会員や寄付者、NPO法人の役員、市民や所轄庁)から複式簿記で、資産・負債・正味財産の残高と収益・費用の一覧を見る
4	ツールとしての簿記とは	活動計算書・貸借対照表・財産目録の作成。継続性の原則
5	何を作成すればいいのか	支出抑制・収入増加の必要性や"機具合"
7	作成すると何がわかるのか	平成23年11月に、内閣府の「特定非営利活動法人の会計の明確化に関する研究会」からの報告書やNPO会計基準関連HP
8	会計は何を参考にすればいいのか	導入した方が便利だが、エクセルなどの活用で十分なケースもある。
10	会計ソフトは便利なのか	事業年度終了の日から3か月以内に事業報告書、活動計算書、貸借対照表、財産目録、役員名簿及び10名以上の社員名簿を所轄官庁に提出
12	NPO法人が提出する会計書類は	営利企業における損益計算書に相当するフローの計算書
13	活動計算書とは	の事業年度末、NPO法人の経費、負債及び正味財産の状態を表すもの
15	貸借対照表とは	全財産及び負債を具体的にその種類、数量、価額を付して記載(外部公表)
16	財産目録とは	「活動計算書」や「貸借対照表」では表すことができない有益な情報をたくさん表す「注記」を非常に重視
18	財務諸表の注記とは	設立時と定款変更時のみ必須
19	活動予算書とは	「棚卸資産」「固定資産」「借入金」の扱いが異なる。一取引に仕訳は不要
20	収支計算書と活動計算書の違いは	一般に比べられると思われる科目のうち主なものを例示
21	勘定科目の設定は	「事業費」とは、NPO法人が目的とする事業を行うために直接要する経費。「管理費」とは、NPO法人の各種の事業を管理するための費用。
23	事業費と管理費とは	事業費と管理費のそれぞれについて「人件費」「その他経費」に分けて表示
24	人件費とその他経費とは	共通する場合は、従事割合、面積割合等に応じ事業費と管理費に按分
28	共通経費の核分の方法とは	NPO法人には「支遣性」と「対価性」の財源。科目はNPO法人会計基準で。
30	収益の部の勘定科目について	複数の事業を行っている場合には、「財務諸表の注記」で、
32	複数事業を行った場合の表示方法について～その1	個々の事業に関する収益を事業費と対応させ、各事業損益を明示する方法
34	複数事業を行った場合の表示方法について～その2	活動計算書の「次期繰越正味財産額」が貸借対照表の「正味財産合計」と一致
36	活動計算書と貸借対照表の関係とは(現金のみの場合)	活動計算書の「当期正味財産増減額＝現金の増減額」であり、「次期繰越正味財産額＝期末の現金残高＝貸借対照表の正味財産合計」
38	活動計算書と貸借対照表の関係とは(現金+預金の場合)	多桁式現金出納帳は、複式簿記の簡易版。現金や預金以外には資産・負債がないNPO法人向き。
40	多桁式現金出納帳とは	「現金」が移動する日の日付で現金出納帳を記載し、領収書の日付は摘要欄に。
44	現金出納帳に記帳する日付はいつか&現金預金以外に資産・負債がない場合は	1個または1組の取得価額が10万円未満であれば消耗品費。ただし、各団体の内部規程等で金額的な判断基準を設定できる。
45	固定資産と消耗品費の違いについて	「総勘定元帳」で借入金の増減を記録し、その総勘定元帳の期末の残高を貸借対照表に記入する
46	借入金を計上する場合について	源泉所得税などは「預り金」として計上。毎月10日までに税務署へ支払う。
47	預り金を計上する場合について	現物寄付を受けた場合と同様、金銭換算して財務諸表に計上すること
48	現物寄付の取り扱いについて	現物寄付を受けた場合は、その取得時における公正な評価額を取得価額として計上。
49	無償等で物的サービスの提供を受けた場合について	現物寄付を受けた場合と同様、金銭換算して財務諸表に計上すること
53	ボランティアによる役務提供を受けた場合について	ボランティアによる役務の提供が「活動の原価の算定に必要な受入額」である場合、金銭換算して財務諸表で表現することも可能

# 講座内容

テキストA「イチから始めるWindows7」  
テキストB「Word&Excel2010」

Ver. 1. 2

単元	講座項目	内容	テキスト	補助資料	ポイント
パソコンの基礎	Window7の基礎	1 OSの話		あり	Windows2000,XP,VISTA、7の話
	デスクトップ画面	2 画面の表示項目の説明、IMEハネ	P12、P13		
	エクスペローラの機能	3 使用目的、表示項目の説明	P14、P15、P16		エクスペローラって何？ ライブラリ、マイドキュメント
	Windowsのサイズ変更、表	4 マウスポインターの表示変化、	P17、P18		ポインターのサインが変わる意
	ファイル操作	5 作成、削除、copy、移動	P22からP27		フォルダーとファイルの意味 まとめて処理する方法
		6 検索	注、テキストB P38からP45		ファイルの検索
		7 拡張子の表示と意味	P40		
	画像ファイル	8 デジカメからのデータ取り込み		あり	ピクチャフォルダー
	パソコンのハード基礎	9 USB、SDカード、CD、DVD、		あり	
	Web操作	10 タブ処理、お気に入り、フォルダー作成	P42からP49		タブの作成、F5で更新
	インターネットメール	11 Webページの印刷	P52		
		12 インターネットメールの説明	P58、P59	あり	メールの種類、登録に必要な
	メールの送受信	Windows Live Mail	P60		署名、エチケット
		13 TO,CC,BCC、返信、転送	P61、P64、 P65からP67		実際送受信する、各自メール アドレス付与
	アドレス帳	14 自動登録、マニュアル登録	P62、P63		自動作成
	ネットワークの基礎	15 インターネット、プロバイダー		あり	
WORD	WORDの基本操作	1 起動、終了	P52からP54		「保存しますか」メッセージ 口頭説明
		2 戻る処理、やり直し			
	文字入力(漢字、全角、半角)	3 日本語入力システム	P55からP58		IME
		ローマ字入力			
	文章入力	4 漢字変換、記号入力	P59からP61		記号の名称、「記号」での検索
		5 文節による変換	P62からP66		「Shiftと←
	文章操作	6 文字種			例題1を留意
		文字フォント、文字の大きさ			あらかじめP76の例題1を留意 してこの文章でいろいろ加工す
		文字の色			
		7 文章の挿入、削除、移動	P87からP92		
		8 短縮Key操作		あり	コピー
		Ctrl キーを使った処理		あり	
		9 段組み			
		10 箇条書き、記、項番		あり	
		11 インデント		あり	
	ページ設定	12 ページレイアウトの説明	P76からP78		
文章の保存と読み込み		P80、P81			
印刷	13 用紙、茶目、印刷レイアウト	P83からP86			
	14 用紙、茶目、印刷レイアウト				
	15				
画像挿入	16 図、図形、クリップアート	P225			

単元	講座項目	内容	テキスト	補助資料	ポイント
EXCEL	PDF化	17 ファイルの保存時に設定	P232、P233		EXCELも同じ
	WORDの帳票の作成	18 「新製品展示会のご案内」 例題4で説明	P103からP111	あらかじめ カード用意 (P104のメ ーシ 敬具 まで)MS明 フォント10.5P	いろいろな機能 表の挿入
		19 「スキ 講習会のご案内」 例題6で説明	P114からP117	あらかじめ カード用意 (全文)MS明 朝フォント 10.5P	ワードアート、クリップアート ページ置線
	EXCELの基本操作の説明	1 起動、概要説明	P130、P131		
	データ入力の基礎	2 数値データ、文字列、入力、消去	P132、		ワークシート、シート見出し、 列、行
		3 ファイルの保存、読み込み印刷	P134、P135		PDF化
	セルの処理(挿入、削除)	4	P136からP138		
	連続処理	5 数値、文字	P139		
	数式入力	6 計算(+-*/%)	P140、P141		
	セルの処理	7 サイズ、色、ケイ線、塗りつぶし	P143からP148		
	セルの選択処理	8 列、行、範囲選択、結合		あり	Ctrlキー、Shiftキーを使う
	グラフ	9 棒グラフ、折れ線グラフ	P150	P150の例題 1,2の表を用 意する	P150の例題1,2の表を使って グラフ
		10 関数(MAX、MIN、COUNT、 RANK、ROUND)	P172からP178		
	関数	11	P179、P180	例題20表を 用意	
		12 関数(COUNTIF、SUMIF)	P184からP186	例題23表を 用意	
	並び替え	13	P191、P192	例題25表を 用意	降順、昇順
	印刷	14 印刷範囲、ページ処理		あり	1ページを超えるEXCEL表の印 刷
	15 改ページ、タイトル行		あり		
EXCELの帳票の作成 実習	16 実習39	P210	データ表は用 意しておく	詳しい処理マニュアルは用意 する。	
	17				

## EXCEL講習における表の作成について

	EXCEL表	掲載ページ	準備
1 売上表1		134	受講者に作らせる
2 売上表2		136	用意する
3 売上表3		140	用意する
4 売上集計表		143	用意する
5 テレビ販売数1		150	用意する
6 ミニテスト1、2、3		172,173,175	受講者に作らせる
7 イベント負担金		177	用意する
8 計算テスト1		179	用意する
9 自動車販売実績		184	用意する
10 サッカークラブ名簿		191	用意する



東京都新しい公共支援事業「八王子NPOパワーアップ事業」  
「ITの基本」講座(パソコンの基礎)実施報告

八王子NPOパワーアップ事業実行委員会

八王子NPOパワーアップ事業実行委員会主催のNPOパワーアップ講座の実技講座  
「ITの基本」講座(パソコンの基礎)の実施概要を報告いたします。

1. 開催日 7月12日(木) 10:00~16:30  
2. 会場 八王子市市民活動支援センター  
3. 参加者 13団体各1~2名 計14名(1名欠席)  
主催者スタッフ  
サポーター 5名(小倉京子,結城訓子,本田信子,飯森公子,若杉慶子)  
事務局 2名(岩田, PM 堤)

4. 配布資料

配布資料

- (1) パソコンの基本講座(受講者名簿)  
(2) 補助資料1(7頁)  
(3) 補助資料2(1頁)・・・インターネット接続回線  
(4) 補助資料3(1頁)・・・メールについて  
(5) 講座内容(2頁)  
(6) アンケート用紙  
(7) 市販テキスト「イチからはじめる! Windows7」(ダイソー¥105)  
(8) 市販テキスト「30時間でマスター Word & Excel2010」(実教出版¥900)  
・・・ (8)は受講者に予習するため持ち帰ってもらう

5. 講師 宮崎周一氏

6. 概要

6.1 当日進行

事務局説明

- ① 資料確認  
② 本日のスケジュール説明  
③ 講師紹介

6.2 講座内容

- ・ 受講者は名簿NO.を見て、4つの机に配置したパソコンNO.と合致する席に着席。

講義 …… 宮崎講師がパワーポイント資料(配布資料(2)~(5))&(7)を使い講義。  
配布資料(5)の1頁目にある講座項目に沿って講座が進行

- 10:10 ~ Window7の基礎  
デスクトップ画面  
エクスプローラの機能  
Windowsのサイズ変更、表示  
{昼休憩}
- 12:55 ~ 14:50 ファイル操作  
拡張子について
- 14:50 ~ 14:55 {休憩}
- 14:55 ~ 画像ファイル
- 15:10 ~ パソコンのハード基礎  
Web操作  
インターネットメール  
メールの送受信・・・ アカウント(cf.1)設定し実習  
アドレス帳  
ネットワークの基礎
- 16:30 ~ 16:40 アンケート記入他

cf.1 受講者no.2~9: パワーアップ八王子:[ ID]iwatutuminmin@yahoo.co.jp [pass word]honebuto802  
受講者no.10~16: パワーダウン八王子:[ ID]tutumiwatantan@yahoo.co.jp [pass word]hiyowana802

7. まとめ

① アンケートから見たこと

- ・ 「ファイル操作」では理解できない人は皆無だったが、「Web操作が素早く出来る」と「メールが出来る」が1名残ったのは少し残念。・・・事前に把握していた超初心者(受講者no.2或いは3)以外の人。
- ・ 前項及びアンケート項目5「感想」欄から、メールにもっと時間をかけて欲しかった様子が伺える。

② 講師の個人的感想)

- ・ この講座の前に2日間かけたサポーター5名との打ち合わせ、当日の講義終了後のミニ反省会、また、事前資料の作成など、講師の姿勢は高く評価出来た。
- ・ 受講者14名に先方のサポーター5名+事務局2名がついたが、丁度良かった。つまり一人で4名の受講者を見るのは難しい。
- ・ 講義の話し方については、若干語尾が不明瞭で聞きづらかった。また、講義内容が多義にわたった良さもあった反面、拡張子・Web操作時のタブ・パソコンのハードなどは割愛して、メールなどの実技に時間を当てた方が受講者のニーズにあった感じを受けた。

以上

H24. 7. 12時点

受講者数: 14

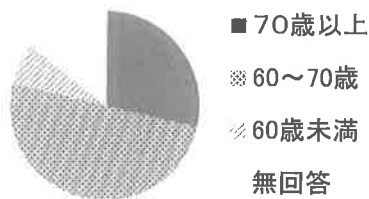
回収枚数: 13 (うち、記名13)

回収率: 92.9%

平均点: 80点

	1	2	3	計	
年齢	70歳以上	60~70歳	60歳未満	無回答	
	4	7	1	2	13
役割	代表者	管理者	実務担当者	無回答他	
	2	1	4	6	13
ファイル操作	理解できた	ほぼ理解	理解できなかった	無回答	
	2	10	0	1	13
パソコン上手に使	十分自信つ	ほぼ自信つ	自信ができなかった	無回答	
	2	9	1	2	13
Web操作素早く	十分自信つ	ほぼ自信つ	自信ができなかった	無回答	
	2	8	1	3	13
メールが出来る	十分自信つ	ほぼ自信つ	自信ができなかった	無回答	
	2	8	1	3	13

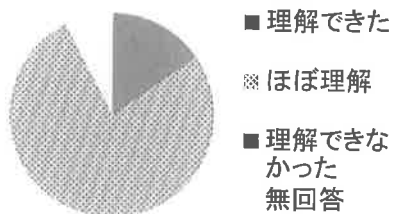
## 年齢



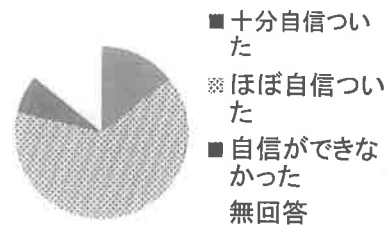
## 役割



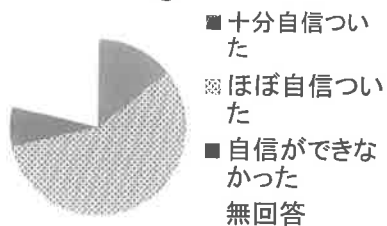
## ファイル操作



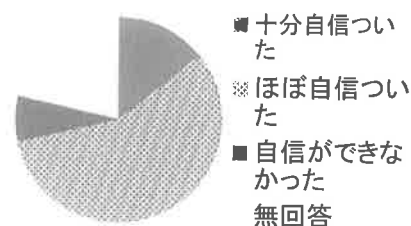
## パソコンを上手に使える



## Web操作が素早く出来る



## メールが出来る



東京都新しい公共支援事業「八王子NPOパワーアップ事業」

## 特別講座「新寄付税制のメリットと特徴」実施報告

八王子NPOパワーアップ事業実行委員会

八王子NPOパワーアップ事業実行委員会主催のNPOパワーアップ講座の特別講座「新寄付税制のメリットと特徴」講座の実施概要を報告いたします。

1. 開催日 9月1日(土) 13:30～16:30
2. 会場 労政会館
3. 参加者 計 51名
4. 配布資料
  - (1) 「新寄付税制のメリットと特徴」(パワーポイント資料)
  - (2) 「新寄付税制のメリットと特徴」質問票 2部
  - (3) 「新寄付税制のメリットと特徴」アンケート用紙
  - (4) レジュメ「寄附金を支払ったとき」(表裏)
  - (5) レジュメ「個人都民税の条例指定寄附金の取扱いについて」(表裏)
  - (6) レジュメ「平成23年中に寄附金・義援金・支援金を支払った方へ」(表裏)
  - (7) レジュメ「法改正に伴うNPO法人の登記手続きについて(お知らせ)」(表のみ)
  - (8) パンフレット「認定NPO法人制度がより身近になりました」(小冊子)
  - (9) パンフレット「すべてのNPOの活動を支える制度をつくっています」
  - (10) パンフレット「大好評発売中」(シーズ発行本の広告資料)
  - (11) 新聞記事コピー「NPOへ寄付 より気軽に」(表・毎日新聞)  
「NPOへ寄付しやすく」(裏・東京新聞)
  - (12) 新聞記事コピー「介護系でも認定NPO法人」(表・シルバー新聞)  
「社説・寄付と還付 社会の担い手育てよう」(裏・朝日新聞)
  - (13) パンフレット「寄付のお願い」シーズ
  - (14) パンフレット「認定NPO法人申請対策3時間集中セミナー」シーズ
  - (15) パンフレット「今こそ認定NPOをとる準備を始めましょう！」(認定をとろう！委員会)
  - (16) 八王子市市民活動支援センター広報紙「SUPPORT802」
  - (17) 同上 パンフレット アクティブ市民塾「昔話でめぐるふるさと八王子」

5. 講師 常務理事 関口宏聡 氏(NPO法人: NPO法人シーズ・市民活動を支える制度を作る会)

## 6. 概要

6. 1 当日進行  
事務局説明

- ① 配布資料(1)質問票の説明
- ② 本日のスケジュール説明

## 6. 2 講座内容

13:30	開会 主催者挨拶 講師紹介 (以下、講演は配布資料(1)と(8)を中心に進行)	司 会: 植村氏 委員長: 石井理事長 司 会: 植村氏
13:40	講演開始(寄付する側について)	
14:45	休憩(質問表配布/回収)	
15:00	講演再開(寄付される側について)	
16:15	Q & A	
16:30	事務局連絡	岩田事務局長
16:35	講演会終了	
17:00	片付け完了/撤収	

## 7. まとめ

## ① アンケートから見えたこと

- ・ 新NPO法への取組み意識が高まった回答が多かったのは、アンケート回答者に多くの八王子市民活動協議会在籍者の影響がある点に留意する必要がある。
- ・ 寄付する意味の認識は確実に高まった。
- ・ 講演会と言う性質上から止むを得ないが、一連のアンケート回収率の中で最低だった。
- ・ 関口先生の講演そのものの評判は高かったと判断できる(自由記入欄などから)。

## ② その他(記録者の個人的感想含む)

- ・ 雷鳴を交えて雨が降ったりやんだりで気を揉んだが、何とか50名を上回る参加者があった。
- ・ 事務局で80件以上の電話勧誘も行ったが、参加者獲得は苦戦。演題が専門的だったためか普遍的な要素も理解されやすいPR方法も工夫した方が良かったかも知れない。
- ・ アンケートの回答にもあったが、朝日新聞社説の「寄付と還付」紹介などで市民の意見を反映させる意義・効果も伝えられ、寄付への理解を高められた。
- ・ 若いとはいえ熱のこもった立ちっ放しの関口先生の講義は分かり易く大変良かった。

以上

# 特別講座アンケート結果

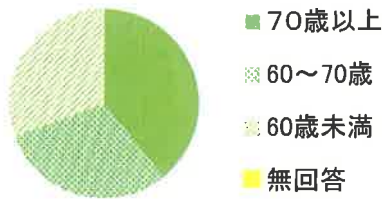
2012/9/1

受講者数: 50 +1名(資料のみ)  
 回収枚数: 24 (うち、記名20)  
 回収率: 48.0%

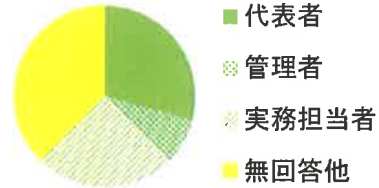
平均点: 85 点

	1	2	3	-	計
年齢	70歳以上	60~70歳	60歳未満	無回答	
	9	7	7	0	24
役割	代表者	管理者	実務担当者	無回答他	
	7	2	6	9	24
講演を理解	理解できた	ほぼ理解	理解できなかった	無回答	
	7	16	1	0	24
新認定NPO取組	ある	なし(したいが)	なし(不要)	分からない	
	13	4	1	0	24
寄付する意欲	高まった	不変	低下した	分からない	
	14	5	0	0	24

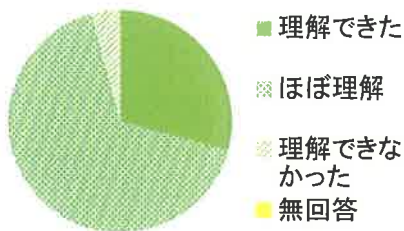
### 年齢



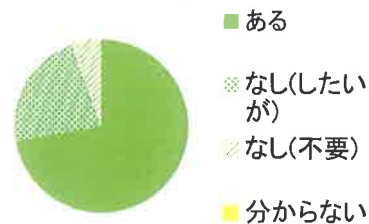
### 役割



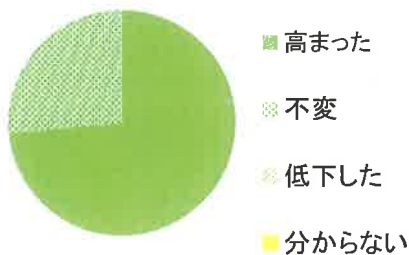
### 講演を理解



### 新認定NPO法への取組み



### 寄付する意欲



↑  
協議会在籍者の影響大

## 総合アンケートまとめ

## (1) 講座毎の評価

## ①「組織のミッションの明確化」 (山岡講師)

参加15団体の歴史・状況が様々であった結果が如実にでた科目のひとつ。講師に委ねるのが良いか事務局から解説すべきかは分かりませんが、講座初回という点から、全講義7種の流れ・関連付けについて受講者に丁寧な説明をするところからスタートして欲しかった意見が幾つか感じ取れた。

但し、「とても良かった」「良かった」以外の評価はなく、次回以降も外せない。

## ②「事業計画と評価」 (川北講師)

この科目も高い評価だったが、実践的な面での体現感に至らなかったためか次回への必要性に繋がっていない。

## ③「事務局の役割」 (梅本講師)

規模の差はあれ殆どの団体が直面する問題で、自団体に置き直した場合にどうなのかの視点からか更に突っ込んだ部分を欲しているように思われる。また、第三回目に実施した順番が良いのかとの受け止め方もあった。

## ④「助成金申請」 (和田講師)

団体の規模を問わず、この科目も関心が高い。ただ、事前の提出を求められていた課題の完成度のバラつきが多く、ワークショップ時のグループ分けに反映させるとか、事前提出を徹底してもらうような対策も必要。また、より十分な添削を求める意見もあり、この講座もアフターフォローを出来るのであれば歓迎。

## ⑤「情報発信」 (大熊講師)

受講者のレベル差が大きかったが、ブログの立ち上げまで体験できた達成感を味わえた満足感が伺える。但し、時間が足りない感じや継続した活用への期待感があり、これらにも応えられれば完璧なもの。

## ⑥「広報活動」 (川久保講師)

前半の説明と後半の実技の各々に差が生じているのは、団体や受講者のレベルがバラバラな結果によると思われる。7講座の中では必須科目と受け止めた受講者の割合が一番少なかった。

## ⑦「会計業務」 (板垣講師)

「とても良かった」「良かった」の割合が7講座中、最も高く次回でも取り上げるべきとの声も一番。パソコンなどの技法に依らない講義であったにも関わらず好評だったのは、市民団体の実務者に経理に精通した人が少ないためと思われる。一般的な技法はそれなりに接する機会があるが、会計ような分野は相当の意欲がないと学ぶ機会が少ない背景にあって、講義全般が高く評価された。

## \*「中間報告会」

交流の場が持てたこと自体の評価は高かったが(自由記入欄から)、成果発表よりも途上にある団体の後押しになるような形を求める意見もあり、次回に関しては内容を再検討したほうが良いかも知れない。

## \*「全体を通して」

「ふつう」以下は皆無で、今回の講座が成功裏に終え次回も続けるべきとの声ばかりになっている。自由記入欄でも高い評価の表現が多かった。

次回に取り入れて欲しいカリキュラムとしては会計関係に対する要望が多い。

## (2) パワーアップ講座の特徴について

## ①地元での講座に地元の団体と一緒に受講

6割以上の団体から評価を得ているが、「何とも言えない」との声もあった。

## ②7講座を通して受講

必要な講座だけで良いとの声も一部にはあるが、圧倒的に通しで受ける良さを感じている。

## ③受講者は2名/団体(メンバーは替わって良い)

100%の評価を得ている。

## ④ネットワークづくりも目的にしています。(講座終了後の対応は?)

「気楽な情報交換をしていきたい」が殆どで、メールアドレスの公開範囲は意見が多少分かれるが拒否する声はない。

## (3) 講義に出席しやすい曜日、時間、時間帯、間隔

設問方法がやや拙かったためも多少あるが、各団体の要望にはバラつきがある。

間隔については、毎週が多いものの隔週を希望する意見がそれなりにある。

## (4) 受講料

「妥当」との常識的な回答が殆ど。損をしたとの声は皆無。

## (5) 今回の講座は自団体のパワーアップに役立ちますか?

「非常に役に立つ」「役に立つ」ばかりの反応。自由記入では、考え方から実技まで役立てられると評価。

## (6) 今回の講座を他のメンバー・他の団体にも勧めたいか?

「団体によっては勧めたい」との意見が多いが、他の団体の事情が分からない面からか、「分からない」との声もある。また、総合アンケートでは現れていないが、科目ごとで受講者が入替った場面もあり、逆に参加できなかった科目にも受講したかったとの声も聞こえている。

以上

# 総合アンケートグラフ

1. 各講義のそれぞれの項目について、5段階で貴団体としての評価を願います。

<p>①「組織のミッションの明確化」</p> <p>■ とても良かった □ やや良かった ▨ 普通 □ やや不満 ■ とても不満</p> <p>7 7 0 0 0</p>	<p>②「事業計画と評価」</p> <p>■ とても良かった □ やや良かった ▨ 普通 □ やや不満 ■ とても不満</p> <p>8 6 0 0 0</p>	<p>③「事務局の役割」</p> <p>■ とても良かった □ やや良かった ▨ 普通 □ やや不満 ■ とても不満</p> <p>4 7 2 1 0</p>
<p>④「助成金申請」</p> <p>■ とても良かった □ やや良かった ▨ 普通 □ やや不満 ■ とても不満</p> <p>8 5 1 0 0</p>	<p>⑤「情報発信」</p> <p>■ とても良かった □ やや良かった ▨ 普通 □ やや不満 ■ とても不満</p> <p>7 5 1 1 0</p>	<p>⑥「広報活動」</p> <p>■ とても良かった □ やや良かった ▨ 普通 □ やや不満 ■ とても不満</p> <p>5 5 3 1 0</p>
<p>⑦「会計業務」</p> <p>■ とても良かった □ やや良かった ▨ 普通 □ やや不満 ■ とても不満</p> <p>11 2 1 0 0</p>	<p>⑧「中間報告会」</p> <p>■ とても良かった □ やや良かった ▨ 普通 □ やや不満 ■ とても不満</p> <p>5 1 4 0 1</p>	<p>⑨「全体」</p> <p>■ とても良かった □ やや良かった ▨ 普通 □ やや不満 ■ とても不満</p> <p>5 3 0 0 0</p>

2. パワーアップ講座の特徴について評価願います。感想等自由にご記入ください。

<p>①地元での講座に地元 の団体と一緒に受講す る(複数回答可)</p> <p>■ 狙い良く効果あり □ 効果は不十分 ▨ 何とも言えない ■ 意味がない</p> <p>9 3 2 0</p>	<p>②7講座を通して受 講する。</p> <p>■ 通しで良かった □ 必要な回)だけ で良い ▨ 何とも言えない</p> <p>12 2 0</p>	<p>⑩受講者は2名/団 体(メンバーは替 わって良い)</p> <p>■ 2名まで/団体 ■ 2名困難 ▨ 1名/団体 □ 分らない</p> <p>14 0 0 0</p>
---	--	---

3. 今回の講座は自団体のパワーアップに役立ちますか？ 8. 今回の講座は他のメンバー・他の団体にも勧めたいですか？

<p>①非常に役立つ</p> <p>■ 非常に役立つ □ 役立つ ▨ あまり ■ 分らない</p> <p>9 4 0 0</p>	<p>①是非勧めたい</p> <p>■ 是非勧めたい □ 団体によって ▨ 勧めるつもりはない ■ 分らない</p> <p>1 7 1 3</p>
--	---



H24年度NPOパワーアップ講座成果整理表

2013.03.31

具体的な成果・取組・変化

法人	団体名	まとめ/特記	組織のミッションの明確化	事業計画と評価	事務局の役割	助成金申請	情報発信	広報活動	会計業務
1	志摩塾	まとめ				助成金獲得 8 助成金申請中 2	ブログ開設/参考 3 HP開設/見直し 4		会計業務
2	志長塾5グループ								
3	情報ボランティア八王子	NPO法人化のためのワーキンググループ編成	法人化にあわせミッションを見直し、より明確化を図った	事業計画の見直しとそれぞれ評価を行う	事務局の強化を図る	八王子市民活動助成金申請、助成決定	ブログ開設→反応者(国際協会)市と協働で実施することによりイベントを八王子市の広報誌に掲載	HPを見直し、全面的に改定	会計業務の再確認
4	すまいるカフェ	NPO法人格取得 1月25日に設立記念講演会を原宿(50℃の野菜洗い) 約100名参加	ミッションが組織にとって大事な資格である女子が分かったので、設立に向け見直しを図り、明確化することが出来た	計画の立て方について役に立った評価は今後の課題	コミュニケーションが大事と教わったので、月1回程度は懇談会をもつようにしたい	八王子市助成金取得は異業種とことんサポート事業のチャレンジと会計を取寄。ロゴ作成し会計報告も指導を仰いでいる	HP解説準備中	八王子市からの助成金でホームページ作成予定	嬉しいのでことんサポートで指南して頂いている。
5	滝山城跡群・自然と歴史を守る会	既にアンケート提出済。 講座内容は良かったですが、会としての目に見える成果は助成金獲得以外には特にならなせん。しかし、各講座の内容は、今後の活動に活かしていきたいです。		外郭団体		西武信金助成金獲得			
6	著作権推進会議	組織運営の着直しに役立った	あらためて各部の役割の明確化	毎期計画と短期計画の策定と、実践の評価報告	現状維持	検討中	ホームページのリニューアル着手	既存の協議会立報誌、タウン誌の活用	会計担当者の増員
7	日本ウエルネット	会員に「認定NPO」制度に関する情報を含めて渡し、「寄付税制」について理解を求めた。				西武信金助成金獲得 ・大塚区環境改善推進事業「ここから」の活動づくり申請中 ・朝日新聞文化推進事業団「高齢者への悪ガ・虐待のないまちづくり」(6月中に採否決定)			
8	八王子音楽療法研究会	講座内容が自分のテンポにあっており、良かった。例え課題1になり落ちた気持ちは、他の受講生の評判もよく、とても良い刺激を受けさせて頂きました。							
9	八王子子ども劇場	受講時の内容を思い出し、活動を企画するようになった。例えば金銭のやり方などは梅本講師の話を思い出しながら進めている。							
10	八王子市民活動協議会	認定NPO法人格認定取得にチャレンジ	ミッション見直し合宿研修実施	理事役割分担表作成 課題整理フォーマット作成	事務局員を増員 1回/月事務局会議実施			広報紙担当とHP担当を分離	専門相談受ける
11	八王子生涯学習センター	NPO法人化勉強会開催	中長期活動計画の見直し	地域展開事業として「生涯学習の集いイベント」の進捗管理実施	八王子市助成金獲得			ホームページの更新・整理を推進 会のパンフレット(カラー版)の企画が立ち上がる	ホームページ管理による効率化推進
12	(特)エンジョイスポートコミュニケーション 八王子スポーツ祭実行委員会	NPO法人格取得。 今までお祭りでやってきたものが、受講してビジョンの立て方等整理されたのが一番の成果。自分としては受講して非常に良かった。これからの活動に活かしていきたい。							
13	八王子ワークセンター					助成金獲得(赤い羽根)			
14	緑サポート八王子					助成金獲得			
15	地域住民の安全生活応援団	とても参考になる講座でした。特に会としての成果は上がってはいませんが、現在来期事業計画を策定中なので、受講内容を活かして計画に反映させつつもります。							
	八王子NPO/パワーアップ事業実行委員会					市民企画事業補助金獲得	ホームページ開設 ML運営中		



# NPO パワーアップ講座状況写真

6月7日 組織のミッション明確化: 支援センター～労政会館

\* 地元ケーブルTVテレビ: 生中継放映 \*



6月28日 助成金申請: 西武信金



9月13・20・27日 会計業務: 支援センター



6月14日 事業計画と評価: 西武信金



7月5日 情報発信: 支援センター



7月  
12・19・26日  
実技講座  
(ITの基本):



9月1日  
特別講演  
(新寄付税制):  
労政会館



6月21日 事務局の役割: 西武信金



9月6日 広報活動: 支援センター



8月9日  
中間報告会:  
西武信金



平成24年3月6日

## 第2回NPO八王子会議実施報告書 (東京都「新しい公共支援事業」助成事業)

日時 : 平成24年2月25日(土) 10時00分～17時00分  
 会場 : 東京都八王子労政会館  
 主催 : 八王子NPOパワーアップ事業実行委員会  
 テーマ : 「新しい公共」、「協働」の担い手としてのNPOのあるべき姿  
 後援 : 認定特定非営利活動法人日本NPOセンター・西武信用金庫  
 協力 : 日本財団CANPAN

スケジュール :

時間	会議室	内容	司会	備考
10:00-10:15	ホール	●開会セレモニー ・開催宣言 NPO 八王子会議実行委員長 : 春田 博 ・ごあいさつ 特定非営利活動法人 八王子市民活動協議会 : 石井 利一 八王子市市民活動推進部長 : 峯尾 恒夫	貞清	90分
10:15-11:30		●基調講演1:川北 秀人氏 (IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表) テーマ:「新しい公共」、「協働」の担い手としてのNPOのあるべき姿		
11:30-12:15		昼 食		45分
12:15-14:45	第6 会議室	●ワークショップ1:川北 秀人氏 (IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表) テーマ:事業目的の明確化、事業計画の策定、情報開示	理事	150分
12:15-14:45	第5 会議室	●ワークショップ2:梅本和比己氏 (株式会社チーム医療代表) テーマ:ロールプレイで学ぶ会議の進め方	理事	150分
12:15-14:45	サー クル室	●ワークショップ3:和田 真氏 (日本財団:広報グループ広報チーム) テーマ:NPOを生かす助成金申請のコツ	理事	150分
14:45-15:00		休 憩		15分
15:00-16:00	ホール	団体事例発表 (学びと再発見) ①認定特定非営利活動法人21世紀協会 ②特定非営利活動法人緑サポート八王子 ③特定非営利活動法人めじろむつみクラブ	理事	60分
16:00~17:00	ホール	●基調講演2:山岡義典氏 (認定特定非営利活動法人 日本NPOセンター代表理事、 法政大学教授) テーマ:寄付税制及びNPO法の改正とNPO活動 (団体事例発表講評含む) ●閉会の辞	貞清 春田	60分
17:00-18:30	第1 会議室	●交流会 (80名程度を予定) 挨拶:乾杯:中締め:		90分

## 第3回NPO八王子会議報告書

- 日時：平成25年3月16日（土）10:00～17:00 交流会：17:00～18:00
- 会場：東京都八王子労政会館 ホール他、各会議室
- 参加者：130名

この「NPO八王子会議」も今年で3回目の開催となるが、今回は「連携」をテーマに、午前の基調講演と午後の3分科会で構成した。特に分科会「A」は「円卓会議」という、様々なステークホルダーが係わり合いを持ちながら、地域の課題解決に取り組むという新しい手法を紹介した。

## 1. 基調講演 10:15～12:15

講師：早瀬 昇（認定NPO法人日本NPOセンター代表理事）

テーマ：「NPOと様々なセクターが織りなすこれからのまちづくり」

## ◆講演内容

## ・多彩な視点を持つ市民活動

阪神大震災のボランティアによって、市民活動が注目されるきっかけとなったが、行政の「何事も公平性」を求められる活動に対し、市民活動は得意分野、特徴を生かして自由にそして個々に応じた活動が展開できる。

## ・当事者として関わる市民活動

例えば、当事者としての被災者を支援するのではなく、その被災者（当事者）になりきることが大切と思う。当事者としての自覚があって初めて、自分の問題だと受け止めることが出来る。そういう活動が、寄付を呼び込むことにつながるし、参画者を増やし、社会を変えていく。

## ・連携

自分たちだけで、全ての地域課題を解決出来る訳ではない。弱みを自覚し、他の団体や組織、行政等色々な人たちと補完し合うことによって、高いレベルの解決策が生まれる。

## 2. 分科会「A」13:00～16:00

講師：田尻 佳史（認定NPO法人日本NPOセンター常務理事・事務局長）

テーマ：「地域円卓会議を学ぶ」

## ◆講演内容

- ・変わりゆく市民生活の現状を理解することの大切さ。少子高齢化や経済情勢、価値観の変化などにより、地域の成り立ちが大きく変わりつつある（公助や共助、行政とNPOの協働のあり方、新しい公共の捉え方など）。
- ・社会的責任に関する円卓会議の背景。上記のような変化を踏まえて、これからは地域の各分野のステークホルダーを含む複数組織による課題解決が不可欠である。
- ・このほか、円卓会議の組み立て方、進め方、重要ポイント等の説明があった。

## ◆円卓会議の実践

- ・最初にテーマである「八王子市〇△町の買物難民支援を考える」に関する地域状況

をイメージ映像を流しながら説明して、参加者が共通認識を得るようにした。各参加者の簡単な自己紹介（3分）の後、討議に入った。

#### 【討議内容】

- ・ファシリテーターが支援対策への視点、考え方、対策にはどんな手法が考えられるか等について問題提起した。
- ・「買物難民」は高齢者、障害者だけでなく、車に乗れない人など「買物弱者」という捉え方が必要である。
- ・現在では「ネット通販」も流行っており、たいていものは自宅に居ながらにして購入できる時代である。しかし、「手にとって買物する」楽しみ、「買物をしながら、人とふれあえる」楽しみがない。
- ・地域から撤退してしまった店舗の後釜を探すのは厳しい。そういう状況を予防することが大切だが、人口も減り高齢者ばかりの地域では、なかなか難しい。
- ・企業は採算を無視できない。一定のマーケットを維持するためには、過疎化対策が不可欠。留学生の受入や、芸術等人が寄り付くような発想も必要。

#### 《感想》

今回は「模擬」ということで、円卓会議の手法を紹介したわけだが、初めてのことであり、やゝ討論が未消化であり、課題→対策への論点が不十分だったように思われる。しかし、この「円卓会議」という手法は、地域の各ステークホルダーが参画してひとつの課題解決を話し合うもので、今後の運用次第では大きな成果を挙げるものと期待できる。

### 3. 分科会「B」13:00~16:00 受講者 30名（他にスタッフ3名）

講師：徳永 洋子（認定NPO法人日本ファンドレイジング協会事務局長）

テーマ：「ファンドレイジングの基礎」

#### ◆講演内容

- ・市民活動団体は財政基盤が弱いと言われているが、その割に資金調達に力を入れることが不十分である。
- ・資金調達は、会費、助成金補助金、寄付、自主事業収益など、バランス良くすることが大切である。助成金だけに頼ってはいは、その助成金が打ち切られると途端に活動が停止してしまうことになりかねない。
- ・日本財団の助成金情報は、非常に豊富な内容であり、CANPAN プロジェクトはぜひ活用したほうがよい。CANPAN ペイメントの紹介等。
- ・資金調達をしっかりと定着させることは、会員の定着にもつながることである。
- ・その他、助成金申請の方法などの解説があった。

#### 《感想》

資金調達の大切さとその基本が良く理解できた。今後は実際の応用編などを聞いてみたい。もう少し、ワークショップで参加者の自由討論があると、なお良かった。

### 4. 分科会「C」13:00~16:00

講師：中西佳代子（株式会社ランドスケープアンドパートナーシップ代表取締役）

テーマ「ずっと住み続けたいまちをつくるのは私たち」

「ワールドカフェ」の手法を学ぶことが、この分科会の主題である。

## ◆講演内容

- ・まちの持っている魅力（歴史的な環境、文化的な環境、自然環境）を大切にすることが、暮らし続けたいまちをつくっていくことにつながる。
- ・第二次世界大戦後、空襲を受けた町で復興が始まったが、経済的復興が優先だったので、個々が無秩序に効率と利益を求めて、バラバラな町並みとなった。
- ・現代は商業主義による派手な看板の乱立、建物や舗装道路で緑の見えない街、これらにより、昔ながらの雰囲気や情緒などを失ってしまった。
- ・しかし、住民合意のもと、まちの景観を魅力的なものへと変えていくことが出来る。温泉街の無秩序な看板を無くし、電線を地中化し、歩道を整備することによって、その町並みの本来持っている魅力を引き出すことができる。
- ・競争でなく調和をもとに景観を統一し、街の個性や魅力を引き出すことが出来る。そのためには、地域の様々な人たちのコミュニケーションを深め、課題を整理し、歴史、文化、自然の価値を共有することが大切である。

## ◆ワールドカフェの実践

受講者がグループに分かれて、ワールドカフェを体験した。

テーマは下記の三つである。

- ・「懐かしい街の風景」
- ・「今の八王子の魅力」
- ・「まちづくりのために、今私ができること」
- ・個々のグループの討議内容は省略。

分科会「C」は、受講者がもっとも少なかったが、「ワールドカフェ」のテーマは身近なもので、自分たちのまち「八王子」のことで、討論は盛り上がった。初めてワールドカフェを体験した人は、非常に面白かったとの感想を述べていた。

## 5. クロージング 16:00~16:15

分科会終了後、再び全員がメイン会場のホールに集合し、各分科会の講座内容の概況を5分づつ、各講師が発表した。

## 6. アンケート結果

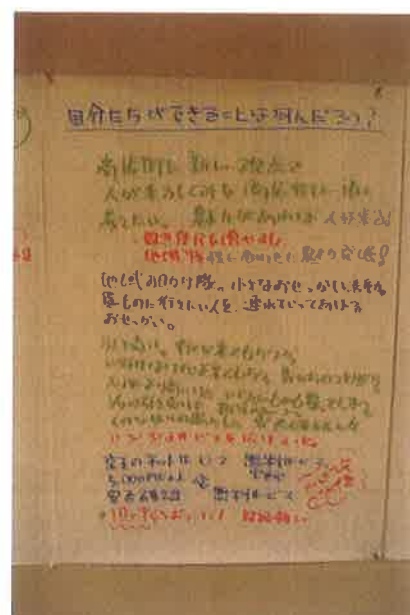
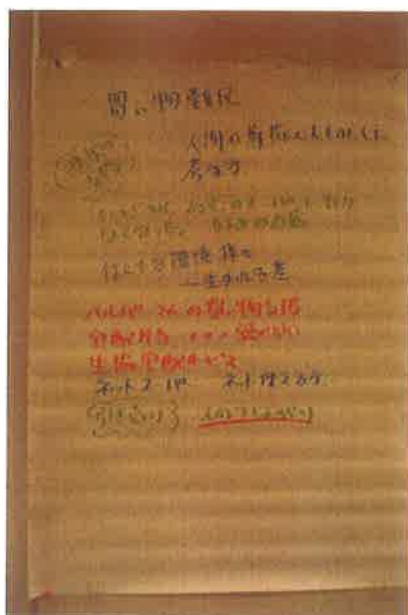
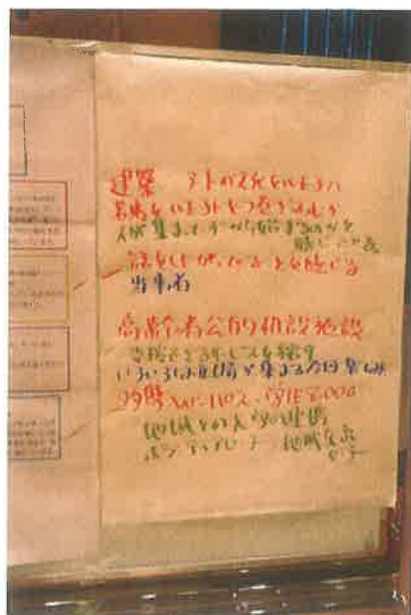
今回、アンケートの集計が19枚と非常に少なかったが、内容は好評である。主な意見は下記のとおり。

- ・講師の早瀬さんの話はとても興味深く、新たな認識を与えてくれた。自分も出来ることから始めたいと思った。
- ・当事者意識をもつことの大切さが分かった。行政との協働の話が参考になった。
- ・「不公平でも構わない」「仲間になることが大事」などの言葉が印象として残った。
- ・円卓会議というが、従来のシンポジウムなどとの違いが分からなかった。もう少し、手法についての紹介が欲しかった。
- ・助成金申請の方法を分かりやすく解説していただいた。今後役に立たせたい。
- ・「ずっと住み続けたい街」という言葉に惹かれて参加した。八王子の良いところがたくさん分かって良かった。
- ・ワールドカフェで議論が深まったのが良かった。

以上



「第3回 NPO 八王子会議」会場風景



# 団体回りリスト

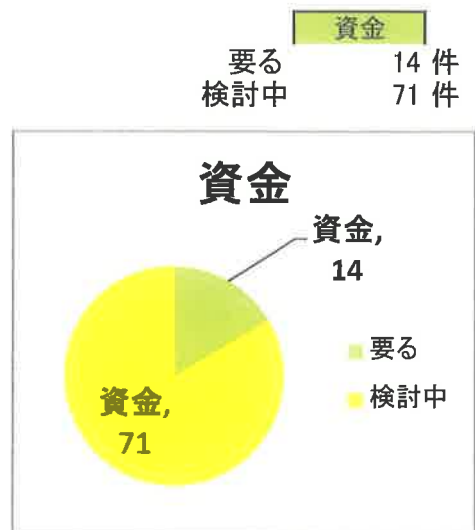
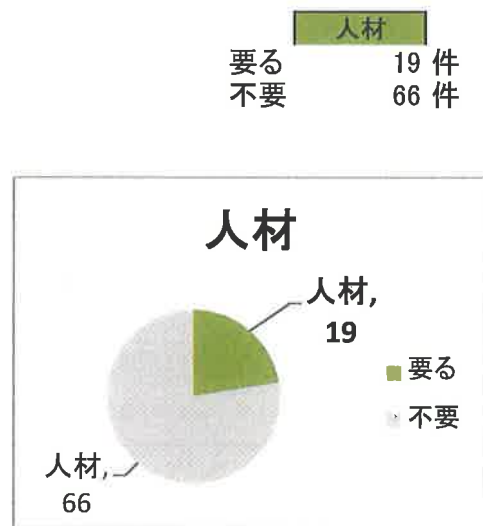
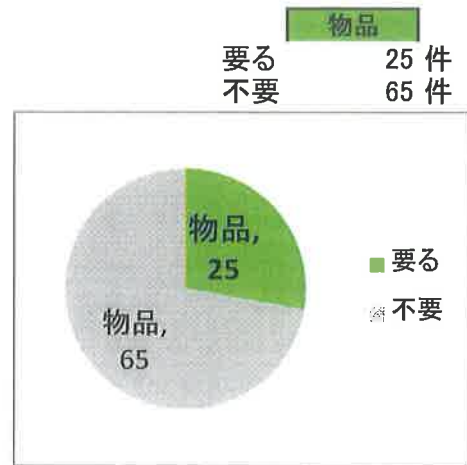
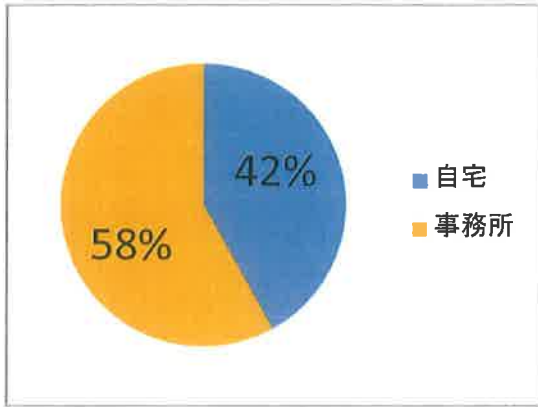
氏名	訪問日	団体名	情報収集手段	報告書番号	訪問手段
1 杉田	1・19	NPO法人 真京マスターズ陸上連盟	相手先を訪問	1	
2	1・24	NPO法人 つくみ	相手先を訪問	34	
3	1・19	NPO法人 明神学童育成の会	相手先を訪問	35	
4	1・24	NPO法人 はちぎたSC	相手先を訪問	36	
5	1・23	NPO法人 高尾青年の家福祉会	相手先を訪問	37	
6	1・12	NPO法人 福祉サービスハウス友	相手先を訪問	38	自転車
7	1・13	NPO法人 シルバーサポートなほ屋	資料を郵送	39	
8	1・12	NPO法人 はなでんしゃ	相手先を訪問	40	自転車
9	1・17	NPO法人 サポート高尾	相手先を訪問	41	自転車
10		NPO法人 あきる野さとやま自然塾	連絡不可	42	
11 植村	1・14	NPO法人 HERO	相手先を訪問	2	
12	1・16	NPO法人 生涯厚生事業団	相手先を訪問	3	
13	1・20	NPO法人 ひまわり	相手先を訪問	4	
14	1・22	NPO法人 エンズリー	相手先を訪問	5	
15	2・5	NPO法人 ほほえみ	相手先を訪問	44	
16	2・3	NPO法人 オリブ療法	相手先を訪問	45	
17	1・19	NPO法人 ローカルガバメント	TEL	56	
18		NPO法人 国際職業能力開発センター	連絡不可	57	
19		NPO法人 日中教育友好協会	〃	58	
20 西村	1・17	NPO法人 悠楽	相手先を訪問	23	
21	1・18	NPO法人 薬物乱用防止教育	相手先を訪問	24	
22 大山	1・13	NPO法人 環境活動支援センター		6	
23 伊藤	1・18	NPO法人 なみき福祉会	TEL	7	
24	1・16	NPO法人 トータルケアサービスエオラ八王子	TEL	8	
25	1・6	子育て子育て支援ネットワーク	郵送	9	
26	〃	NPO法人 あさかわ	市役所にて面談	12	
27	1・14	NPO法人 ハッピーライフ	相手先を訪問	10	
28	1・10	NPO法人 はらふくネット	相手先を訪問	11	
29		ビジョングエスト	連絡不可	111	
30		MAIKEN	〃	112	
31		萌	〃	113	
32 廣川	不明	NPO法人 フローゲン	相手先を訪問	15	車
33	不明	NPO法人 八王子乳がんを知る会	相手先を訪問	16	車
34	不明	NPO法人 日本スケートパーク協会	TEL	17	
35	不明	NPO法人 コスモ	相手先を訪問	18	
36		ハッピーモトモロー	郵送	21	
37	不明	環境ハーベストファーム	相手先を訪問	21	
38		次世代を担う子供を育てる会	訪問		
39		にっこ福祉社	TEL		
40 春田	1・14	八王子学研究会	?	13	
41	1・16	読売センターめじろ合西館(新聞販売店)広報依頼	面談	14	
42	1・25	NPO法人 著作権推進協議会	面談	19	
43	1・24	NPO法人 日本ウエルネット	面談	20	
44	1・26	NPO法人 高尾の自然科学博物館を考える会	面談	22	
45	1・28	NPO法人 蓮山城跡・自然と歴史を守る会	面談	25	
46	1・25	NPO法人 ライフネットMOE	相手先を訪問	26	
47	1・21	NPO法人 未来設計・キャリア開発研究会	相手先を訪問	27	
48	1・20	八王子国際協会	面談?	28	
49	〃	NPO法人 高尾・陣馬山桜万本植樹管理プロジェクト	面談	29	
50	1・15	NPO法人 ケアセンター八王子	相手先を訪問	30	
51	1・16	NPO法人 めじろむつみクラブ	面談	31	
52	1・10	ふるさとを拓く	面談	32	
53	〃	NPO法人 緑サポート八王子	面談	33	
54	2・1	NPO法人 地域住民の安全生活応援団	面談	43	

55 堀井	1・19	NPO法人 OES	相手先を訪問	46	
56	1・27	〃	相手先を訪問	47	
57	1・25	法人 若駒ライフサポート	相手先を訪問	48	
58	1・26	NPO法人 八王子いちよりの会	相手先を訪問	49	
59	1・25	NPO法人 英	相手先を訪問	50	
60	1・31	NPO法人 生活デザインセンター	相手先を訪問	51	
61	1・21	NPO法人 ポーツビジョン21	協議会新年会で面談	52	
62	2・4	NPO法人 地域生活文化研究所	交際センターで面談	53	
63	2・3	NPO法人 みんのはな広場	相手先を訪問	54	
64	1・27	NPO法人 建物相談室五色会	相手先を訪問	55	
65	1・25	NPO法人 OCP総合研究所	相手先を訪問	84	
66 関谷	2・8	NPO法人 ごすもす (報告書はあるが、面談記録なし)	相手先を訪問	64	
67		ベトナム文化交流	TEL		
68		らいふ舎 (報告書はあるが、らいふ舎の運営報告なし)	本人	63	
69		NPO法人 藍の会	資料を郵送	61	
70		BilB	TEL		
71		サンフワロー	〃		
72	2・8	NPO法人 委の会 (報告書はあるが、面談記録なし)	相手先を訪問	62	
73		NPO法人 STEP	資料を郵送	60	
74	2・8	NPO法人 船の会 (報告書はあるが、面談記録なし)	訪問…?	59	
75	2・10	結いの会 (報告書なし)			
76		国際福祉事業団	TEL		
77		日本NPO基金	〃		
78 大福	1・2	NPO法人 農と自然・ちびっこ農園	相手先を訪問	71	車
79		NPO法人 宇野平和協力推進機構	相手先を訪問	72	
80		NPO法人 JAPAN SOCIETY ENROLLED	連絡不可	73	
81		NPO法人 ぶれみゆう	相手先を訪問	74	
82	1・2	NPO法人 にんじんの家	相手先を訪問	75	車
83		NPO法人 レックスラボ	TEL	76	
84		NPO法人 チャイルドケアネットワーク	連絡不可	77	
85		NPO法人 グランチャ	相手先を訪問	78	
86	1・2	NPO法人 すししろ22	相手先を訪問	79	車
87 堤	2・20	NPO法人 養和会(まゆだま)	相手先を訪問	80	車
88	2・16	NPO法人 第2若駒の家	相手先を訪問	81	車
89		NPO法人 八王子移動サービス	相手先を訪問	82	車
90		NPO法人 八王子うらら会	TEL	83	
91 関	2・22	NPO法人 からまつ	職場組合で面談	85	
92	2・11	NPO法人 ひよどり農業支援センター	相手先を訪問	86	
93		NPO法人 日本ラルーシ経済協会	連絡不可	110	
94	不明	NPO法人 21世紀自然環境循環	資料届け	109	
95		NPO法人 八王子福祉・リサイクル協会	相手先を訪問	108	
96		NPO法人 日本ホーモニデンティンディングセンター協会	連絡不可	107	
97		NPO法人 パーキンソン病完治基金	連絡不可	106	
98		NPO法人 明業前進の会	連絡不可	105	
99 塩澤	1・10	NPO法人 ハローパークレー	相手先を訪問	95	
100	1・11	NPO法人 日本医歯連協機構	相手先を訪問	96	車
101	1・9	NPO法人 リトルシニア野球協会	相手先を訪問	97	車
102	1・18	NPO法人 障害自立支援センター	相手先を訪問	98	車
103	1・11	NPO法人 内閣府マッセジ	連絡不可	99	
104	1・12	NPO法人 タウンセンターリタイア推進機構	相手先を訪問	100	
105 堤	1・24	NPO法人 ニューイング	相手先を訪問	101	
106	〃	NPO法人 福祉の明日を考える会	相手先を訪問	102	
107	〃	NPO法人 八王子子ども劇場	相手先を訪問	103	
108	〃	NPO法人 服部センター	相手先を訪問	104	

\* 団体訪問アンケートから \*

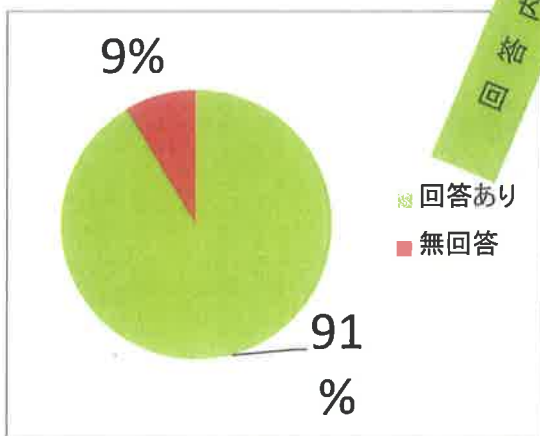
[ H24年度調査 ]

調査件数	自宅	事務所
93件	39件	54件



< ファンド >

回答あり	無回答
85件	8件





# NPOパワーアップ講座

組織を見直し、より強化し、そしてワンステップ前に進むために

修正版

平成24年度の「NPOパワーアップ講座」は大好評のうちに修了しました。第2期は一部個人も受講対象と 130401

日程	概要	講師	対象者
6月6日 (6月13日)	<b>組織のミッションの明確化</b> 組織運営の基本 組織のミッションの明確化 活動目標の明確化	法政大学 名誉教授 八王子市民活動協議会 顧問 山岡 義典 さん	理事長 事務局 理事 担当者
6月20日 (6月27日)	<b>事業計画と評価</b> 事業計画の設計 プロセスのデザイン 事業評価 事業結果の評価項目・評価方法 結果を改善アクションに結びつける	IIHOE [人と組織と地球のための国際研 代表 川北 秀人 さん	理事長 事務局 理事 担当者
7月4日 (7月11日)	<b>事務局の役割</b> 事務局の役割/業務  仕事を円滑に進める方法 (コミュニケーション)	八王子子ども劇場 理事長 浅野里恵子 さん (株)チーム医療 代表 梅本 和比己 さん	事務局 理事  担当者
7月18日 (7月25日)	<b>事業展開と資金調達</b> 事業を展開する目の付け所 事業企画立案 資金調達の方法とポイント	NPO法人「育て上げ」ネット 理事長 工藤 啓 さん	事務局 理事 担当者
8月29日	<b>中間報告会</b> 取り組み事例発表 各団体取組状況発表	八王子NPOパワーアップ事業事務局	関係者 全員
9月5日 (9月12日)	<b>広報活動</b> イベントの企画 人の集まるチラシの作り方	八王子市市民活動支援センター 副センター長 川久保紀美子さん	事務局  担当者
9月19日 (9月26日)	<b>情報発信</b> ホームページの知識 メディアの活用・ブログ/ツイッターの活用	一般社団法人シニア社会学会 理事 好齢ビジネスパートナーズ 世話人 堀池 喜一郎さん	事務局  担当者
10月 3日/ 10日/17日	<b>会計業務</b> 新会計基準について 会計業務の基礎 会計業務の実務(日常業務/決算業務)	著作権推進会議 八王子市民活動協議会	事務局 担当者
10月31日	<b>修了式</b> 修了証書授与 各団体/個人決意表明	八王子NPOパワーアップ事業事務局	関係者 全員
<p>対 象 : NPO法人・市民活動団体 15団体限定! 1団体につき2名まで参加できます。 応募団体多数の場合は、厳正なる審査のうえ決定させていただきます。 市民活動団体での活動を志す個人 最大 10名</p> <p>参 加 費 : 1団体17,000円 個人10,000円</p> <p>会 場 : 八王子市市民活動支援センター/西武信用金庫八王子支店</p>			
公開講座	8月 1日/ 8日/22日	<b>ITの基本</b> インターネットの見方・メールの扱い パソコン基本知識・Word/Excelの基本	八王子市民活動協議会 情報ボランティアの会(八王子)
	<p>対 象 : 市民活動団体に所属しておられる方 ; 市民活動団体での活動を志しておられる方</p> <p>募 集 人 数 : 18名</p> <p>参 加 費 : 4,000円</p> <p>会 場 : 八王子市市民活動支援センター</p>		

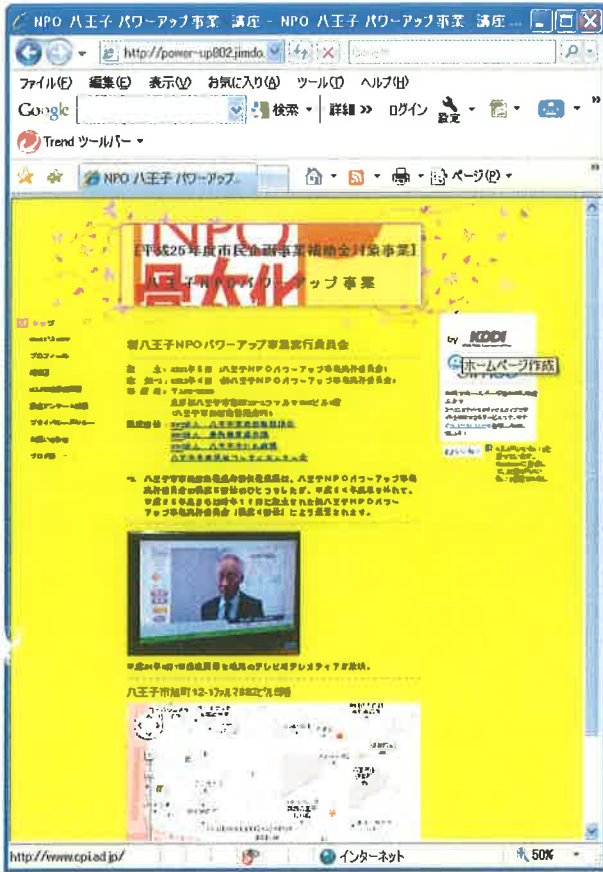
主 催 新八王子NPOパワーアップ事業実行委員会  
構成団体 NPO法人八王子市民活動協議会・  
NPO法人著作権推進会議・NPO法人八王子子ども劇場

・申し込み/問い合わせ: 八王子NPOパワーアップ事業  
実行委員会事務局(八王子市民活動協議会内)  
TEL/FAX::042-646-1626





# 八王子NPOパワーアップ事業ホームページ 情報公開講座の研修を受けホームページ開設、ブログを開始しました。



## 八王子NPOパワーアップ事業ブログ

